

学則の変更の趣旨等を記載した書類

I. 学則変更（収容定員変更）の内容

立命館大学（以下「本学」という。）は、「自由と清新」を建学の精神として設立され、第二次世界大戦後に「平和と民主主義」を教学理念として定めている。さらに2006（平成18）年には学校法人立命館の理念として「立命館憲章」を制定した。これらに基づき本学では、学則に「建学の精神と教学理念にもとづき、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努め、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献することを目的とする」ことを定めている。

高等教育機関の社会的な使命に立脚して、教育研究水準の維持・向上や教育研究環境の整備を図りつつ本学への進学を希望する多様な学生を受け入れ、社会に有為な学生を輩出することは、高等教育機関としての基本的な責務である。本学では、このような責務や要請に積極的に応えていくことが必要であると考え、2020（平成32）年度から文学部における国際化の推進を重点に置いた教学改革を行って、教育研究の充実向上をはかる。それと同時に近年の志願動向に応じるため、同学部の収容定員を以下のとおり変更することに伴い大学の収容定員を増加する（下表参照）。

学部	学科	現行		変更後	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学部	人文学科	980人	3,920人	1,035人	4,140人
合計（立命館大学の総数）		7,849人	31,768人	7,904人	31,988人

なお、「学生の確保の見通し等を記載した書類」で詳述するとおり、本学文学部の志願者数は2016（平成28）年度11,424人、2017（平成29）年度11,105人、2018（平成30）年度11,297人と安定的に推移していることから、学生の確保をできる見通しがある。

II. 学則変更（収容定員変更）の必要性

1. 本学文学部の到達点ならびに教学改革の背景

本学では、教育研究や科学技術の動向を踏まえるなかで教育研究組織の設置や改組、教学改革を行い、豊かな人間性や国際性を備えた多様な人材の養成に努めてきた。さらに教育研究を基本的な使命とする大学として意義を有する教学改革を不断に実行するために、大学の運営体制の充実・整備を行ってきた。こうした教育研究活動の展開に関する評価の一つは、大学全体や各学部に対する志願状況に表れている（資料1）。

2027（平成39）年に創設100周年を迎える文学部はこれまでの歩みのなかで、伝統的な学問分野を尊重しつつ、新しい学問分野と新たな学び方の開拓にも積極的に取り組んできた。2012（平成24）年度には、系統的に学習を進めることができるようにこれまでの枠組みを整理し、履修の区分である学域専攻制度を導入して8学域18専攻を設けた。2年次から専攻を選択するこの制度では、初年次共通教育（リテラシー入門、研究入門、学域別入門講義など）を新設し、専攻選択の準備期間にあたる1年次の基礎的な教学を充実させ、2年次以降に受講するカリキュラムにおいても専攻横断型の教学を設計して、初年次から専攻教学への連続性のある学びを提供してきた。今次の改革では更に、これまでも文学部が系統的な学びの集大成として位置づけてきた「卒業論文」の重要性を一層高めるべく、その作成

に関わる個別指導過程や審査体制及び審査の観点を明確にディプロマ・ポリシーに規定した。

他方で、教育の国際化にも力を注ぎ、教学・研究のグローバル化を進めてきた。その成果の具体例が学部独自の海外実習プログラム（中国、韓国、マレーシア、シンガポール、イタリア、アメリカ等で展開）である。なかでも、キャンパスアジア・プログラムは文学部教学国際化の象徴であり（2017（平成 29）年 3 月にあった「文部科学省 平成 23 年度 大学の世界展開力強化事業」の事後評価で最高の S 評価を獲得）、2017（平成 29）年度からは教育の質的進化を伴う常設の国際プログラムとして再始動した。

本学や文学部をめぐる状況の変化として、日本の教育におけるグローバル化の必要性が叫ばれて久しく、大学教育にも一層の国際化の実践が求められていることが挙げられる。特に 2014（平成 26）年度から文部科学省が進めるスーパーグローバル大学支援事業（SGU）に採択された本学は、高等教育のみならず社会的にも責任が小さくない。

教育界における国際化の具体例の一つとして、小学校での英語必修化が挙げられる。こうした英語の早期履修が広がることを踏まえれば、今まで以上に高いレベルの英語教員養成が求められることは必定である。また、真の国際化の実現のために求められるのは、英語教員養成だけではない。日本人学生及び留学生を対象とした日本語教員養成課程もまた不可欠である。国際化とは英語学習と日本語教授の両輪によって実現するものであり、その結果が国際的発信力の増大につながる。文学部教育が国際観光都市・京都を拠点として行われることは大きな強みになると考えられる。

また、小学校 5 年次にプログラミング教育が導入されることから、将来的にはこの世代が入学してくることを想定しなければならない。このたびの改革はこの点にも注目し、情報教育にも力を入れた改編を行う。

2. 改革の特徴

文学部では前述の背景を踏まえ、立命館学園の中期計画における、あるいは学校法人立命館の中期計画における学園全体の課題も念頭に置きつつ、以下の 5 点を教学目標として議論を進めてきた。以下に各項目の主要な論点について概観する。

（1）教学の国際化推進

「教学の国際化推進」は 2020（平成 32）年度改革にとってきわめて大きな意味を持つ方向性である。文学部はこれまでも英語開講科目の拡充やキャンパスアジア・プログラムの展開などを着実に積み重ね、立命館大学における国際化の一翼を担ってきた。また SGU の目標達成が求められているなか、文学部における積極的な留学生の受け入れと送り出しは重要な役割を担っている。2020（平成 32）年度改革は、この方向性をさらに次の段階へと展開させるための第一歩となる。

その大きな柱となるのは第一に、現在の「コミュニケーション学域」を新たに「国際コミュニケーション学域」と「言語コミュニケーション学域」に系統的履修の枠組みを刷新することである。これらの学域は 2012（平成 24）年度改革以来、学域の中の専攻として設け、それぞれに受験生及び入学者の期待に答えてきたが、その実績を踏まえて各専攻を更に進化させて特徴的な教学を展開するために学域として発展させるものである。「国際コミュニケーション学域」では、これまでの文学部においても大きな利点であった英語によるコミュ

コミュニケーション能力育成に一層力を入れるだけでなく、同時に国際社会に対する深い洞察力と理解力を育む教学を提供する。他方、「言語コミュニケーション学域」では、日本人学生のみならず、日本語を学ぶ留学生を対象とする日本語教員育成カリキュラムを通じて国際的に活躍する人材の育成を進める。

また、現在国際文化学域に設けている西洋史学専攻は「ヨーロッパ・イスラーム史専攻」として改編する。これは高等学校の教科「世界史」に近い印象を与える西洋史学専攻のイメージを一新し、現代社会を理解する上で不可欠な、新たな歴史意識を追究することを目的とする専攻である。対象とする地域をより明確にすることによって文学部の国際的展開を加速し、アジアと欧米に偏りがちだった文学部教育に、空白部分となっていたイスラーム圏を加えることで、より重層的な人文学的視座を与えるものとなると考えられる。

(2) 外国語教育・日本語教育の本学における拠点化

2020（平成32）年度より新たに設定する「言語コミュニケーション学域」の中には「言語学・日本語教育専攻」を設定するなど、日本語教育についてもさらに充実した環境を整備する。

また、世界の数多くの国々・地域との交流を形成していく必要性も論を待たない。そのために文学部では今後、留学生の受け入れの拡大のために、国際コミュニケーション学域では、新たに全54科目の内、約半数の22科目を英語で開講し、バイリンガルでの専門教育を展開するとともに、海外からの短期留学生と日本人学生が学び合う英語開講科目をこれまでの2科目から7科目へと拡大する。また、人文学共通科目の「Lecture for Humanities」でも15～20クラス程度を継続して英語開講することを予定している。これらの取り組みに加えて、世界のさまざまな地域との国際交流プログラムの形成などの努力をする必要がある。これまで高い評価を受けてきたキャンパスアジア・プログラムについては、現行制度での高い完成度を目指すとともに、東南アジアの大学との新規の協定締結など新たな展開も追求していく。文学部が担う英語教育の充実はもちろんのこと、昨今では他大学において撤退または縮小傾向が続く初修外国語の教育にも力を入れ、英語のみに留まらない独自性のある外国語教育をさらに進める。

(3) 人文学的資格課程教育の拠点化

言語コミュニケーション学域言語学・日本語教育専攻の教学は、日本語教員養成課程としても機能する。上述したように、日本語教員の養成は文学部の国際化にとっても大きな意味を持つものであるが、文学部における資格課程の充実という意味でも重要である。

また、文学部は立命館大学で最多の教育職員免許取得者を輩出する学部である。中学校・高等学校の国語科・英語科免許は、本学では文学部のみが課程認定を文部科学省より受けており、文学部の強みとなってきた。これらの教職課程に関しては、これまで中心的役割を担ってきた専攻（日本文学・英米文学・国際コミュニケーション専攻）に加えて、国際コミュニケーション学域と日本語情報学専攻で更に科目を設置して強化する。

その他、文学部ではこれまでと同様、学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、地域研究学域での測量士補などの養成課程を維持する。これらの体制を維持・整備することによって、立命館大学における資格課程教育の拠点としての役割を果たしていく。

(4) 人文学的情報教育の拠点化

今次の改革の特徴の一つがクロスメジャー（後述）として設置するデジタル人文学である。

社会生活のあらゆる場面で情報化・デジタル化が進む中、人文学においてその技術をどのように活用するかを学ぶ教学は、従来の文系・理系の分類を超える領域として重要である。「人文学のための情報処理」などの情報系科目群を通じて展開する教学は、地理情報システム（GIS）やテキストマイニング、デジタル・コンテンツ制作、デジタル・アーカイブ活用など、人文学が現代社会において果たす役割を新たな視点で提起する可能性を秘め、今後の発展がますます期待される分野となろう。

また、現在、文学部の基礎科目として展開されている「リテラシー入門」・「情報処理入門」は、その内容をより発展させて連動性を明確にし、教職科目化することも含めて資格教育の基盤として再整備する。1年次にこうした科目を置くことにより文学部学生全体の情報リテラシーの底上げを目指すとともに、専攻・クロスメジャー教学との連続性を強化して、高度な情報処理技術を備えた人材の育成を進めていく。

（５）専攻を超えた横断型教学の展開

人文学や関連する諸学問・技術を吸収して、多種多様な研究領域や研究手法を総合的に理解しつつ研究を進め、人文学研究の拠点としての文学部の可能性や魅力をさらに高めるため、2020（平成 32）年度からクロスメジャーを設置する。これは従来のテーマリサーチ型ゼミナールの発展的再編として構成され、一つの専攻にとどまらない学問分野横断的な学びの場を維持するものであるが、今回新設する「京都学」「デジタル人文学」の2分野で開講されるクロスメジャーでは、学ぶ対象や目標がより明確な形で提示されることにより、学生は目的意識を明確にしたうえで複眼的な視点を涵養することができる。専攻での系統的な学びに加えて、クロスメジャーは複合的な学びを卒業論文にまで仕上げていく道筋を保証するものとなる。

Ⅲ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

1. 教育課程の変更内容

（１）2020（平成 32）年度からの新人材育成目的・教育目標・3ポリシー

2020（平成 32）年度文学部改革に合わせ、2020（平成 32）年度からの文学部の人材育成目的、教育目標及び3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を、学部改革にも合致する形での修正を行った（下表の下線部分が主な変更内容）。

変更点は、単に改革に直接付随するものだけではなく、今後の文学部の教学を拡充するためのものである。第一にディプロマ・ポリシーでは文学部の特色の一つである卒業論文について、明確な審査の観点を新設した。それによって卒業論文自体の評価及び教員2人体制で行う口頭試問の評価を標準化し、教育の質を担保することができる。教育目標においては、従来の6点を見直し、学部・学域・専攻の教育目標を一致させ、それを元にカリキュラムマップ及びツリーを作成した。これらに基づいて、今まで以上に一貫した教育を目指す。また、教育目標とアドミッション・ポリシーにおいて学生の“主体性”及び“主体的な学び”を明言することとした。これは高校までの学習指導要領の中で学力の3要素として掲げられているものであり、これを文学部の教学の中でさらに伸ばす方針を打ち出した。

改革後の各学域・専攻・クロスメジャーの「教育内容と特色」はこの3ポリシーを基礎に置き、これに基づいてカリキュラムの編成を行い、カリキュラムマップを準備し、そして文

学部としては新たにカリキュラムツリーを作成した。

なお、本学部の教学改革は前述の通り教育研究の充実向上を目指すものであり、既設学部等の教育課程に変更はない。

1) 人材育成目的

旧	新
文学部は、人文学を教育研究し、人間や世界の様々な文化について、幅広い知識と豊かな表現力を身につけ、人間と社会が抱える問題を究明し解決しようとする人間を育成することを目的とする。	文学部は、人文学の <u>諸分野</u> の教育研究を通じて、世界の様々な文化や人間についての幅広い知識を身につけ、 <u>広い視野のもと</u> 、人間や社会が抱える問題の <u>究明・解決</u> ならびに世界の発展に主体的に貢献できる <u>人材</u> を育成することを目的とする。

2) ディプロマ・ポリシー

旧	新
文学部は「人文学を教育研究し、人間や世界の様々な文化について、幅広い知識と豊かな表現力を身につけ、人間と社会が抱える問題を究明し解決しようとする人間を育成すること」を目的とし、卒業時点において学生が身につけるべき能力(教育目標)を定めます。必修となる卒業論文と学部則に規定する単位(教養科目・基礎科目 24 単位以上、第 1 外国語 8 単位、第 2 外国語 6 単位を含む合計 14 単位以上、専門科目 70 単位以上、合計 124 単位以上)の修得をもって、教育目標の達成とみなし、学士課程学位を授与します。	文学部では、「人材育成目的」をふまえて、学生が卒業時に身につけておくべき能力(=教育目標)を定めている。学部則が規定する単位(卒業論文を含む)の修得によって、上記教育目標の達成と見なし、学士課程学位を授与する。 卒業論文の <u>基本的な審査の観点</u> は、以下の通りである。 (1) 研究課題・テーマ (2) 先行研究・研究資料・註記 (3) 論文の展開 (4) 書式

3) 教育目標

旧	新
1 人間や世界の様々な文化について幅広い知識を身につけ、人文学の方法論を用いて理解をすることができる(知識・理解) 2 現代・過去の社会や文化に対して多面的な関心を持ち、自らの見解を形成できる(思	(1) 人間や世界の様々な文化について幅広い知識を身につけ、人文学の方法論を用いて理解をすることができる(知識・理解) (2) 現代・過去の社会や文化に対して多面的な関心を持ち、自らの見解を形成できる(思

<p>考・判断)</p> <p>3 個人や文化の多様性を認め、社会の一員として行動できる (思考・判断)</p> <p>4 人間や文化について関心を持ち、自らの力で課題を設定し探求する意欲を持つ (関心・意欲)</p> <p>5 現代社会が抱える問題に対し、大学で学んだことをもとに解決しようとする態度を持つ (態度)</p> <p>6 自分の調査・研究の結果を、口頭あるいは文章や制作物の形で表現することができる (技能・表現)</p> <p><u>前述の文学部の教育目標に加えて、専攻ごとの教育目標を定めている。</u></p>	<p>考・判断)</p> <p>(3)個人や文化の多様性を認め、社会の一員として行動できる (思考・判断)</p> <p>(4)人間や文化について関心を持ち、自らの力で課題を設定し探求する意欲を持つ (関心・意欲)</p> <p>(5)現代社会が抱える問題に対し、大学で学んだことをもとに<u>主体的に</u>解決しようとする態度を持つ (態度)</p> <p>(6)自分の調査・研究の結果や、それらをふまえた自己の見解を、口頭あるいは文章や制作物の形で表現することができる (技能・表現)</p>
--	---

4) カリキュラム・ポリシー

旧	新
<p>文学部は、学部の教育目標達成のため、「教養科目群」「基礎科目群」「外国語科目群」「専門科目群」「発展科目群」の5科目群を配置し、系統的履修を促しています。教育目標1の達成のために、外国語科目群、教養科目群・専門科目群・発展科目群で学びます。教育目標2・3・4・5の達成のために、教養科目群と専門科目群・発展科目群で学びます。教育目標6の達成のために、基礎科目群・専門科目群・発展科目群で学びます。<u>個別の科目が教育目標のどの項目に合致しているかは、各学域・専攻で定めたカリキュラムマップに記載しています。</u></p> <p>○ 教養科目群 人生を生きていく上での指針となる知</p>	<p>文学部では上記「教育目標」を達成するために、「教養科目群」「基礎科目群」「外国語科目群」「専門科目群」「発展科目群」を<u>相互に関連させながら学ぶ。</u></p> <p>「教育目標」(1)の達成のために、「教養科目群」「外国語科目群」「専門科目群」「発展科目群」で学ぶ。</p> <p>「教育目標」(2)(3)(4)(5)の達成のために、「教養科目群」「専門科目群」「発展科目群」で学ぶ。</p> <p>「教育目標」(6)の達成のために、「基礎科目群」「専門科目群」「発展科目群」で学ぶ。</p> <p>個々の科目群の概要は以下の通りである。</p> <p>○教養科目群 人生を生きていく上での指針となる知性</p>

<p>性と知恵、価値観の獲得のために設置された科目群です。「思想と人間」「現代と文化」「社会・経済と統治」「世界の史的構成」「自然・科学と人類」「数理と情報」「平和と民主主義」の7分野からなる「教養基盤科目 (A群)」と、「国際教養科目 (B群)」「社会で学ぶ自己形成科目 (C群)」「スポーツ・健康科目 (D群)」「学際総合科目 (E群)」からなっています。</p> <p>○ 基礎科目群 大学教育の基礎となるアカデミックリテラシーの獲得のために設置された科目群です。「リテラシー入門Ⅰ」「リテラシー入門Ⅱ」「情報処理入門」「人文学のための情報処理Ⅰ」「人文学のための情報処理Ⅱ」の科目からなっています。</p> <p>○ 外国語科目群 認識力・思考力を豊かにする人間形成に必要な不可欠な教養として、また真の国際理解を得るために設置された科目群です。「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「スペイン語」「朝鮮語」「イタリア語」から構成されており、「第1外国語」「第2外国語」を1つずつ選択して履修します(学域によって選択できる語種が異なります)。</p> <p>○ 専門科目群 自らの所属する学域・専攻の専門的履修が行えるように設置された科目群です。総合的・学際的な知を追究するための「人文学共通科目」(イノベーション副専攻を含</p>	<p>と知恵、価値観の獲得のために設置された科目群。「思想と人間」「現代と文化」「社会・経済と統治」「世界の史的構成」「自然・科学と人類」「数理と情報」「平和と民主主義」の7分野からなる「教養基盤科目 (A群)」と、「国際教養科目 (B群)」「社会で学ぶ自己形成科目 (C群)」「スポーツ・健康科目 (D群)」「学際総合科目 (E群)」からなる。</p> <p>○基礎科目群 大学教育の基礎となるアカデミックリテラシーの獲得のために設置された科目群。</p> <p>○外国語科目群 認識力・思考力を豊かにする人間形成に必要な不可欠な教養として、また真の国際理解を得るために設置された科目群。「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「スペイン語」「朝鮮語」「イタリア語」から構成されており、「第1外国語」「第2外国語」を1つずつ選択して履修する(学域によって選択できる語種が異なる)。</p> <p>○専門科目群 自らの所属する学域・専攻の専門的履修を行い、かつ学域・専攻間の枠組みを超えた、<u>横断型の履修も行える</u>ように設置された科目群。総合的・学際的な知を追究するための</p>
--	---

<p>む) と学域・専攻別の「専門科目」からなっています。学域・専攻別の「専門科目」は、「研究入門Ⅰ・Ⅱ」「基礎講読Ⅰ・Ⅱ」<u>基礎実験実習</u>」「専門演習Ⅰ～Ⅳ」「卒業論文」を基幹科目として、他に「概論」「講読」「特殊講義」などから編成されています。</p> <p>○ 発展科目群 人文科学・外国語はもとより社会科学・自然科学などを幅広く修得・経験することで、専門性を広い視点から高めていくために設置された科目群です。「全学副専攻科目」「他学部受講科目」「教職発展科目」などの単位が算入されます。</p>	<p>「人文学共通科目」と、学域・専攻別の「専門科目」からなる。学域・専攻別の「専門科目」は、「研究入門Ⅰ・Ⅱ」「基礎講読Ⅰ・Ⅱ」「専門演習Ⅰ～Ⅳ」「卒業論文」を基幹科目として、他に「概論」「講読」「特殊講義」などから編成される。</p> <p><u>専門科目群の個別の科目が「教育目標」のどの項目に合致しているかは、各学域・専攻・クロスメジャーで定めたカリキュラムマップに記載する。</u></p> <p>○ 発展科目群 人文科学・外国語はもとより社会科学・自然科学などを幅広く修得・経験することで、専門性を広い視点から高めていくために設置された科目群。「全学副専攻科目」「他学部受講科目」「教職発展科目」などの単位が算入される。</p>
--	--

5) アドミッション・ポリシー

旧	新
<p>文学部の教育目標とカリキュラムで学ぶために、以下のような能力・資質を備えた学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学を学ぶために必要な基礎学力を有する者 ・人文学の分野・領域に対して深い関心と探究心を持つ者 ・学域・専攻での学びを通して幅広い知識と豊かな表現力を身につけて、人間と社会が抱える諸問題を追求・解決しようとする意欲を持つ者 	<p>文学部では、以下のような学生を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人文学の分野・領域に対して深い関心と探究心を持つ者 (2) 人文学を学ぶために必要な基礎学力を有する者 (3) 学域・専攻での学びを通して幅広い知識と豊かな表現力を身につけて、人間と社会が抱える諸問題を<u>主体的に</u>追求・解決しようとする意欲を持つ者

(2) 学域ならびに専攻の改編

2020（平成 32）年度改革に伴い、文学部の履修上の区分は 8 学域・18 専攻・2 クロスメジャーにより構成する。

<2020（平成 32）年度以降の文学部の学科・学域・専攻>

文学部 人文学科（入学定員 1,035 人）

1 年次に募集する 8 学域	2 年次に選択する 18 専攻
人間研究学域	哲学・倫理学専攻
	教育人間学専攻
日本文学研究学域	日本文学専攻
	<u>日本語情報学専攻（名称変更）</u>
日本史研究学域	日本史学専攻
	考古学・文化遺産専攻
東アジア研究学域	中国文学・思想専攻
	東洋史学専攻
	現代東アジア言語・文化専攻
国際文化学域	英米文学専攻
	<u>ヨーロッパ・イスラーム史専攻（名称変更）</u>
	文化芸術専攻
地域研究学域	地理学専攻
	地域観光学専攻
<u>国際コミュニケーション学域（新設）</u>	<u>英語圏文化専攻（新設）</u>
	<u>国際英語専攻（新設）</u>
<u>言語コミュニケーション学域（新設）</u>	<u>コミュニケーション表現専攻（新設）</u>
	<u>言語学・日本語教育専攻（新設）</u>

1) 国際コミュニケーション学域と言語コミュニケーション学域の設置

2012（平成 32）年度改革時に誕生したコミュニケーション学域は、英語及び日本語の新たな学びとしてこれまで受験生と学生にアピールしてきた。その実績を踏まえて今次の改革では本学域に置かれていた国際コミュニケーション専攻と言語コミュニケーション専攻とをそれぞれ学域として拡大し、そこに特色のある専攻を新設する。

国際コミュニケーション学域は従来の欧米地域に限らず広く英語圏を視野に入れ、その言語と文化に関する専門的科目を置き、短期・長期の海外プログラムを充実させることにより、グローバルに活躍できる人材の育成を目指す。特に 1 年次から英語開講科目や英日バイリンガル科目を開講し、海外プログラムや英語関連資格課程と合わせて、英語で研究・発信できる人材の育成を目指す。この学域には、英語圏文化専攻と国際英語専攻を設ける。専攻名称が示す通り、前者は広く英語圏の文化と社会について学ぶことにより、英語によるコミ

コミュニケーションの充実を図ることを企図しており、後者は、共通語としての「国際英語」を前面に掲げて応用言語学に基づく教学を展開する。それにより英語教育に必要な知識と技術を養うことで、将来の中学校・高等学校教員の育成に寄与する。

一方、言語コミュニケーション学域は、言語学とコミュニケーション学というディシプリンを土台として、ことばとコミュニケーションについて専門的に学び、現代社会において生き抜くことのできる真のコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目指す。ここには「コミュニケーション表現専攻」と「言語学・日本語教育専攻」を設ける。前者では組織・医療・スポーツなどの専門職コミュニケーションやことば・身振り・メディアといった領域を設定し、コミュニケーションという現象の膨大な対象を専門的に分節化した上で実践知を獲得する教学を目指す。後者の専攻では、コミュニケーションの学問的基礎としての言語学に照準し、その専門性に基づいて日本人及び外国人の日本語教育と異文化間コミュニケーションという、資格と実践に結び付く教学を進める。

2) 西洋史学専攻をヨーロッパ・イスラーム史専攻に改編

2012（平成 24）年度改革以来、国際文化学域の中に置かれてきた西洋史学専攻は、この学域が持つ諸国家・諸地域の相互関係への意識を志向する教学を模索し続けてきた。歴史の学びもまた、特定地域の歴史にとどまらず、諸地域・諸文明間の関係を視野に入れた視点が求められる。今次の改革では、従来の「西洋史」全般を扱う専攻から、特にヨーロッパとイスラームを扱う専攻としての改編を実施する。両文明圏はその歴史を通じて密接な関係にあったにも拘らず、日本ではイスラームの存在感に対する一般的な認識が低い。イスラーム圏からの本学への留学生が増加しているように、現代のグローバルな動きを理解するためには、この地域の文化・歴史に対する知識は不可欠である。これまでは日本史・東洋史・西洋史として役割を担ってきた文学部の歴史教育は、ここで西洋史をヨーロッパ・イスラーム史に改編することにより、従来の歴史教育の空隙を埋めるだけではなく、グローバル化社会にとって不可欠な知を育むことを目指す。また、初修外国語には含まれないアラビア語についても、専攻独自の専門科目として立ち上げる。

3) 日本語情報学専攻

2012（平成 24）年度改革以来、日本文化情報学専攻は日本文学研究学域内において多くの学生を受け入れてきた。今次の改革では、これまで通りに学生のニーズに応えながらも、両専攻教学の一貫性を意識し、両者の関係を整理するための再編を行う。日本文化情報学専攻は、「情報」という専攻教学の柱の下、日本文化、芸術、日本語学など多岐にわたる学生の関心を引き付けてきた。その「情報」という専攻教学の柱を継承し、発展させ、情報化社会に対応した特色ある教学の展開を目指す。そのために、日本文化情報学専攻を日本語学と図書館情報学とから成る「日本語情報学専攻」に改編する。日本語情報学専攻は、以下の2点を教学の柱とする。

第一に本専攻に求められるのは、資格課程教育に直結する教学であり、それはまた文学部

が目指す資格課程の拠点化という目標に沿うものでもある。本専攻が担う資格教育としては、国語科教員養成・図書館司書養成の2つを挙げることができる。また、日本語教員養成課程について、言語コミュニケーション学域と相補的な教学を提供することにより、文学部全体の資格課程教育に寄与したいと考えている。

日本語情報学専攻の教学としても一つの柱となるのは、「情報」である。これまでも日本語・日本文化を情報資源としてとらえ、最新の技術を活用した分析や、デジタル環境下での図書館学を教学の中に据えてきたが、今回の改革では、それを継承した上で、日本語学と図書館情報学を核としたカリキュラム改革を行う。その特徴の一つは「コーパス日本語学」と従来の人文科学的な知見との融合をはかる教学であり、これは図書館情報学と合わせて、情報化社会における日本語学という今後の展開を担う、本学文学部の重要な特徴となろう。

(3) クロスメジャーの組織と教学

前述のように、2020（平成 32）年度改革では、従来の副専攻とテーマリサーチ型ゼミナールを引き継ぐものとして、専攻横断型のクロスメジャー（CrM）を設置する。これは専攻の学びにとどまらない学習意欲を持つ学生に対して、専攻に加えて学ぶ機会を提供し、かつ専攻とほぼ同等に継続的に学べるよう設計されている。クロスメジャー独自の科目を履修することから、学生にとっては2倍の学びとなるが、学生の学習意欲に十分に応え得る内容となっている。クロスメジャーとして置かれるのは京都学とデジタル人文学の2つの専門領域である。

1) 京都学クロスメジャー

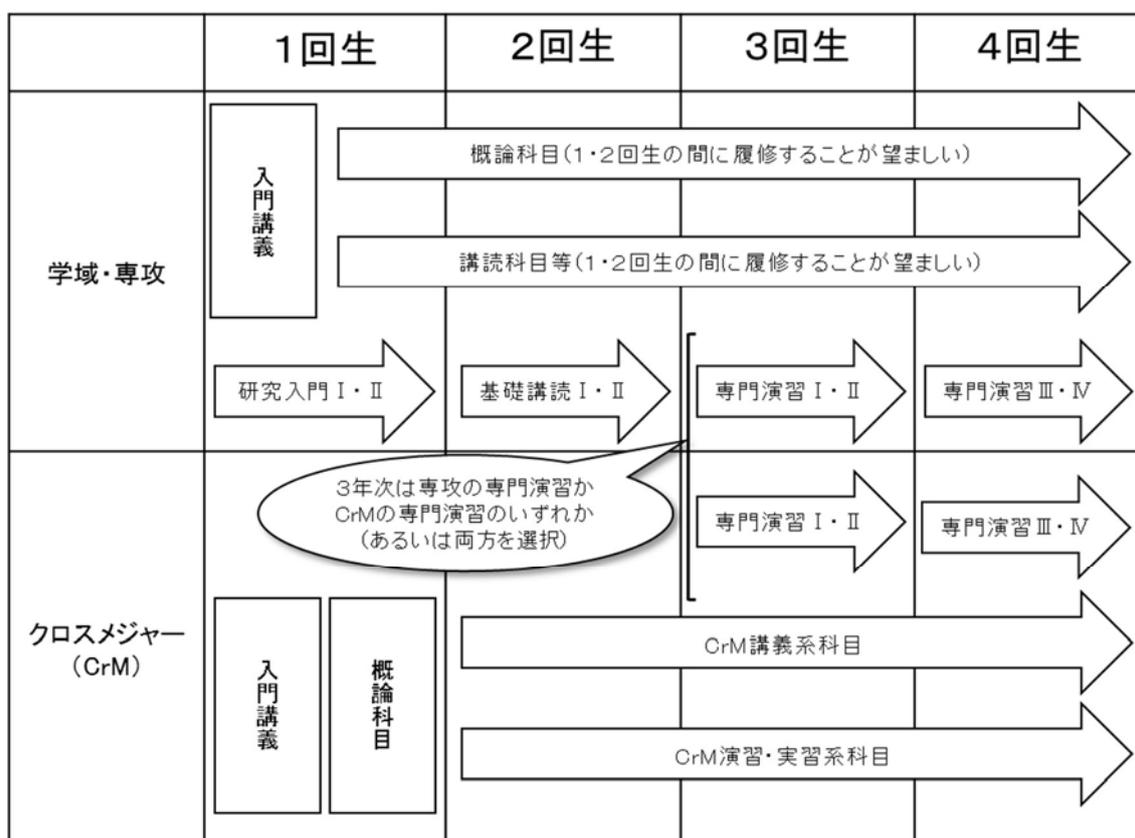
2012（平成 24）年度改革において地域研究学域の一専攻として立ち上げられた京都学は、その前身の「京都歴史回廊プログラム」（2006（平成 18）～2008（平成 20）年度）及び「京都学プログラム」（2009（平成 21）～2011（平成 23）年度）から、「多様な学問領域あるいは研究方法の総合的な理解と、それらを融合した学際的な視点に基づく京都の歴史的・文化的価値の解明を試みる教学の展開」を目的としており、地理学・日本史学・日本文学といった複数の学問分野を融合する学びを提供し、また京都を題材としたフィールドワーク型実習やインターンシップを通して、地域連携を実現する専攻として重要な役割を果たしてきた。一方的に地域の資料を集め、検討対象にするのではなく、また様々なイベントを通じて「学知」を地域に一方的に還元するのではなく、「地域知」と「学知」を往還しながら関係を結んでいくことのできる人材を育成することは京都学の理念の一つである。今回の改革では、京都学が持つ本来の意味での学際性と京都歴史回廊協議会を中心とする地域連携とをより柔軟に拡充するべく、クロスメジャーとして京都学を改編する。これまでも京都学に関わる科目が他学域の学生の関心を集めてきたことから、クロスメジャーとすることで、学生は選択したどの専攻からも、それぞれの専門知識に基づいて学べる体制が整うことになる。

2) デジタル人文学クロスメジャー

デジタル人文学クロスメジャーは、2012（平成 24）年度からイノベーション副専攻の一つとして設置された「デジタル人文学コース」を改編したものである。2007（平成 19）年のグローバル COE プログラム採択以来、本学は日本におけるデジタル人文学の推進において目覚ましい実績を上げており、中期計画の学園課題を受けて、人文学的情報教育（デジタル人文学）の拠点化を目標として掲げている。人文学のテーマや素材・資源に対してデジタル技術を活用することによって異なる領域を結び付け、あるいは新たな研究領域を生み出す可能性のあるデジタル人文学は、欧米諸国の人文学において最も注目され、強化されつつある領域となっており、今後文学部がその日本の拠点としての役割を果たしていくことは社会的使命である。この新しい領域を、従来の学問分野の枠に囚われることのないクロスメジャーとして設置することが、その役割を確実に果たしていくための土台となろう。

これまでも、デジタル人文学はテーマリサーチ型ゼミナールの形で専攻を横断する教学を実践してきた。たとえば 2018（平成 30）年度のゼミナールでは、文学作品の電子テキストや絵画のデジタル・アーカイブ、地理情報システム（GIS）を活用した学際的研究に取り組んでいる。こうしたゼミナールの試みを今後クロスメジャー化することにより、その横断性に加えて、基礎から専門知識へと積み上げていくカリキュラムが可能になる。さらに、同じくクロスメジャーとして設置される京都学との連携、本学の歴史都市防災研究所やアート・リサーチセンターとも連携し、デジタル人文学の人材育成と学問的発展を目指す。クロスメジャーは以下のような構成で展開される。

＜クロスメジャーの構成＞



3) クロスメジャーの構成

- ・現在の専攻・副専攻と同様、原則として1年次秋学期に受講希望者を募集し(成績基準や定員を課す)、2年次から各コースで開講される科目群から一定数の単位を修得する。
- ・クロスメジャー科目は受講許可者のみの受講を原則とするが、一部の講義系科目については、文学部全員が受講できる科目として開放する。
- ・クロスメジャー科目の単位を修得した場合は、「専門科目」区分で卒業に必要な単位として認められる。
- ・クロスメジャーは履修上の区分であるため、クロスメジャーを履修した場合も学生が必ず選択するのは各専攻となる。
- ・3年次からゼミ(専門演習)を開講し、研究内容の報告や卒業論文の作成に向けた準備などを行なう。クロスメジャー受講許可者には、3年次にクロスメジャーのゼミのみの受講を認め、3年次にクロスメジャーのゼミのみを履修した場合は、4年次はクロスメジャーのゼミを履修することとする。3年次にクロスメジャーのゼミと所属専攻の専門演習の双方を受講した場合は、現在のテーマリサーチ型ゼミナールと同様、4年次に卒業論文を執筆するゼミをいずれか一方選択する。
- ・募集人数は「京都学クロスメジャー」「デジタル人文学クロスメジャー」とともに30人で設

定する。

2. 教育方法および履修指導方法の変更内容

(1) 単位数の構造と履修形態

1) 自専攻の専門科目の履修必要単位数の設定

2020（平成 32）年度の文学部改革にあわせて、「卒業論文」（4 単位）・専攻の小集団科目（基礎講読 I/II、専門演習 I～IV、計 12 単位）以外の自専攻の専門科目を、最低 10 単位は修得する」ことを、卒業要件に追加する。それにより、専攻の系統的な教学を積み上げ、卒業論文を完成させるための道筋を、学生にも自覚させる。

＜2020（平成 32）年以降カリキュラム「卒業に必要な単位数」＞

科目区分		卒業必要単位数		
		最低限修得すべき単位数		
基礎科目		24単位以上		
教養科目				
外国語科目		14単位以上		
外国語科目のうち、右記の単位は必修	第1外国語			8単位必修
	第2外国語			6単位必修
専門科目		70単位以上		
専門科目のうち、右記の単位は必修	自専攻科目(※1)			10 単位以上
	専門演習Ⅲ・Ⅳ			4単位
	卒業論文			4単位
発展科目(※2)		—		

(※1)学域科目および小集団科目は除く

各専攻で定められた必修科目の修得単位数を含む

(※2)発展科目…全学副専攻科目、教職発展科目、他学部受講科目

2) 受講登録上限単位数

学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、以下の登録上限単位数を設定する。なお、現行のカリキュラムから登録上限単位数の変更はない。

＜受講登録上限単位数＞

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次以降	
第 1 学期	第 2 学期	第 3 学期	第 4 学期	第 5 学期	第 6 学期	第 7 学期	第 8 学期
22	22	22	22	22	22	24	24

(2) 各種教育課程

1) 専門教育

先に述べたように、今回の改革の指針を実現するためにカリキュラムの見直しと設置を行った。ここでは専門科目の改革の基本となる考え方を示す。

文学部では学域・専攻を横断した人文学の視点での学びを推奨しており、開講されている専門科目の約8割は学域・専攻の壁を超え、全文学部生が受講できる科目として開放してきた。2020（平成32）年度以降も文学部の特徴の一つである学域・専攻横断型の学びは維持しつつ、専門を深めながら隣接する学問領域を学生自身の興味に合わせて受講できるカリキュラムとする。

① 専門教育体系

2020（平成32）年度からの変更点として、概論は1年次秋学期からの受講に統一する。各学域の入門講義を受講して学域の学びの全体像を理解した上で、概論を履修することが適切であるため、改めて整理を行う。

＜2020（平成32）年度以降の専門教育体系＞

		学域単位		専攻単位					
		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春 学期	秋 学期	春 学期	秋 学期	春 学期	秋 学期	春 学期	秋 学期
小 集 団 科 目	リテラシー入門	●							
	研究入門Ⅰ・Ⅱ	●	●						
	基礎講読Ⅰ・Ⅱ			●	●				
	専門演習Ⅰ・Ⅱ					●	●		
	専門演習Ⅲ・Ⅳ							●	●
	卒業論文							●	●
小 集 団 科 目 以 外	学域入門講義	●							
	概論		●	●	●	○	○	○	○
	講義系科目		○	●	●	●	●	○	○
	講読系科目	▲	▲	●	●	●	●	○	○
	実験実習系科目	▲	▲	●	●	●	●	○	○
	特殊講義			●	●	●	●	○	○
	人文学共通科目	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ●印が付されるのは、通常それを受講することが想定・指導されるセメスターだが、○印のセメスターでも受講は可能。▲印は、専攻によっては教学的な必要性から他より先んじて開講する必要がある部分。

② 初年次教育

文学部では、1年次入学時に実施する、河合塾とリアセックが開発したPROG調査、本学

固有の学びと成長調査などの各調査結果を参考に初年次教育の見直しを進めている。現在 2 年次配当科目として開講している「アカデミック・ライティング」に代わり、1 年次秋学期開講科目として、「ライティング入門」を開講する。本科目は「リテラシー入門」のライティングスキルに接続し、さらにスキルを伸ばすためのライティング科目として設定し、2 年次以上は各専攻での（各ディシプリンに応じた）ライティング支援を実施する。情報系の科目内容を充実させた教職科目化に向けて内容を見直す「リテラシー入門」との関係を十分に意識しながら、新「ライティング入門」を開講する。

また、「ライティング入門」の開講によって、1 年次春学期開講の「リテラシー入門」とあわせ、2016（平成 28）年度より実施している、ティーチング・アシスタント（TA）による学生へのライティング支援体制（2020（平成 32）年度から供用される新清心館のアカデミック・commonsでの支援も可能となる）との密接な連関が期待できる。

2) 外国語教育

① 外国語履修における語種選択について

新設する国際コミュニケーション学域と言語コミュニケーション学域では、教学に連動した外国語の履修を設定する。国際コミュニケーション学域については、英語での学びが中心となるため、第一外国語は英語必修、第二外国語はドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・イタリア語から選択とする。言語コミュニケーション学域は、多様な言語を研究対象として、コミュニケーションや言語学の分野から学びを深めていく教学を展開する。従って、外国語履修の語種指定はせず、開講 7 言語の中から学生自身が選択することとする。なお、既存学域の外国語履修に変更はない。

② 英語教育

2020（平成 32）年度改革以降、「イノベーション副専攻」として設置されていた 2 コースの内、「デジタル人文学コース」がクロスメジャーとして改編されるのに伴い、「イノベーション副専攻」は廃止し、残された「英語アドヴァンスト・コース」については体系的な科目群（コース）として存続することとする。

「英語アドヴァンスト・コース」は、原則として、学術英語指導を専門とする教員が授業を担当し、最低 TOEFL iBT®80 点（TOEFL ITP®550 点）、IELTS6.0、TOEIC®730 点以上を目指す科目群である。履修条件として、秋学期に 1 年次対象で募集・審査を行い、合格者のみが 2 年次よりコース科目を受講できる。修得した単位は専門科目として認定される。履修希望者は志望理由書と TOEIC® L&R（又は TOEFL ITP®）のスコアを提出し、担当教員が受講目的と受講するに足る英語力があるかどうかの確認を行う。なお、TOEIC® L&R（又は TOEFL ITP®）のスコア 450 点以上を応募条件として課している。

一方、過去の受講状況を点検してみると、「英語アドヴァンスト・コース」の必修 6 科目（各 1 単位）以外の選択科目は受講者数が極端に少ないなどの問題が挙げられる。また、教養科目 B 群（国際教養科目）や人文学特殊講義（英語開講科目）の充実により、英語スキル

の向上を目的とする科目や英語で専門的な学びを行う科目の受講機会が充実してきた。こうした現状を踏まえ、これまでの13科目の内、「Cultural Studies I～IV」及び「Thesis Writing I・II」の6科目については、2020（平成32）年度カリキュラム以降は閉講する。「海外エリアスタディ実習」は、現状、英語アドヴァンスト・コースを選択していなくても、人文学共通科目として文学部所属学生全員が履修できるため、実態に合わせて2020（平成32）年度以降カリキュラムではコース科目から除外することとする。

英語の実践的スキルを学ぶ需要に応えることと、教学としてはひとまとまりの科目群として履修することが適切であるため、これまで「英語アドヴァンスト・コース」の必修科目として設定していた「Academic Writing & Presentation I・II」、「Academic Listening and Study Skills I・II」、「English Reading & Discussion I・II」6科目については、引き続き「英語アドヴァンスト・コース」として文学部内に設置する。

なお、国際コミュニケーション学域所属の学生は類似の科目を専攻専門科目として履修するため、「英語アドヴァンスト・コース」への応募および履修はできないこととする。なお、応募条件および履修可否の判断基準・方法についてはこれまで通りとする。

加えて、専門外国語 I～IV（英語）についても同様に受講者数の減少と教養科目等の充実の背景を踏まえ、2020（平成32）年度カリキュラム以降は閉講する。

また、英語教育全般としては、2012（平成24）年度の改革を機に1年次必修英語（英語 I～VI）の Super-Advanced と Advanced レベルの9クラスにおいて導入した Academic Skills Program (ASP) が受講生の英語運用能力の発展と TOEIC スコアの目標到達という成果に寄与していると考えられるため、今後もこの方式に基づく教学を拡充していく。

③ 初修外国語

2012（平成24）年度から導入された専門外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語）の現状では、文学部での専門的な学びに直結した授業が展開されているとは言いがたい。また受講者数も少なく、全学的に強く要請されている科目精選の方向性、あるいは教学ガイドラインの遵守という観点からも問題が大きいとの指摘があった。一方で、専門外国語は留学を計画あるいは経験した留学経験者などの受け皿として機能している面があり、単なる語学科目ではなく文学部の教学（特に留学に関わる実践的包括的知識）に寄与する内容を提供していたにもかかわらず、語学科目として1単位と換算されてきたことも学生の受講意欲を下げる一因となっていた。

これらの問題点と意義を初修語教員と共有しつつ、2020（平成32）年度以降は専門外国語を文学部専門科目「人文学のためのドイツ語」（同様にフランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・イタリア語）として2単位科目とする。併せて、他学部学生にも受講可能にし、語学に基づく人文学的な学びを提供する科目として再設定する。2単位科目とすることに伴い、I・II と III・IV を統合して LA・LB クラスとする。これらの科目は、言語の知識に基づいて当該社会・歴史・政治・文化に対する幅広い知見を深めるものである。

3) 教養教育科目

1991年(平成3)の大学設置基準の大綱化以降のなかにあっても立命館大学では教養教育を重視してきた。共通教育という組織的なくくりを行いつつもそれをA群(教養基礎科目)、B群(国際教養科目)、C群(社会で学ぶ自己形成科目)、D群(スポーツ・健康科目)、E群(学際総合科目)で構成される教養教育として編成してきた歴史がある。

立命館大学の教養教育の理念・教育目標は、1)専門教育とは質的に異なる知識の修得を目指す、2)幅広い教養と確固たる世界観の形成によって、人生の指針となる知性と知恵、価値観の獲得を目指す、3)専門教育と相俟って心身ともに均衡のとれた21世紀を担う人材育成をめざす、の三点である。文学部教養教育の理念・教育目標は、大学の理念・教育目標と相関する。その上で、教養教育は、専門教育を補完し、専門教育との相乗効果によって学部の人材育成目的の達成に寄与するものと位置づける。

なお、文学部でこれまで培ってきた図書館司書課程での経験と知見を全学に還元することを目的に、2020(平成32)年度より教養A群に新たに「メディアと図書館」という図書館学の科目を開設し、本学12学部へ提供する。日本語情報学専攻の教員が中心となって科目の運営を行うことを予定している。

教育方法および履修指導方法の変更内容は以上の通りであって、収容定員の増加に対応できる。

3. 教員組織の変更内容

文学部の教員組織については、全学の教員組織整備計画に沿って進めており、1)人間形成・人間育成目標を実現する教員集団の組織、2)3つのポリシーを実現する教員組織の構築、3)全学の共通教育の充実、4)大学院及び研究高度化も視野に入れた教員組織の実現に向けて順次教員の体制強化に取り組んでいる。その結果、文学部における2018(平成30)年度の教員数は125人であり、現時点で大学設置基準上の必要専任教員数を確保している。

カリキュラムの改革に伴う教員組織の検討においては、新規に5人の教員任用を予定しており、専任教員は130人となる。これにより、入学定員が55人増となるものの、教育の質を担保できると考えられる。

4. 大学全体の施設・設備の変更内容

立命館大学においては、文学部が設置される衣笠キャンパスの施設、設備等を使用する。衣笠キャンパスには、学部では、文学部のほかに法学部、産業社会学部、国際関係学部、映像学部が、研究科では国際関係研究科、法学研究科、社会学研究科、文学研究科、言語教育情報研究科、映像研究科、先端総合学術研究科が設置されている。

キャンパス内には、教室棟に加えて、平井嘉一郎記念図書館・同ラーニング・コモンズ、

保健センター、体育館等が設置されている。

授業・指導・事務的なサポートにあたっては、文学部の基本棟である清心館を中心に活用し、学習・研究の進展にあたっては、平井嘉一郎記念図書館・同ラーニング・コモンズ等を活用することで、文学部人文学科で実施する教育・研究に必要な施設・設備について十分にその条件を満たすことができる。

更には、2020（平成 32）年度以降の文学部における教学の新展開に対応すべく、文学部の基本棟となる清心館、啓明館は2019（平成 31）年度、2020（平成 32）年度に改修を予定している。学生の学習環境の多様化、授業スタイルの多様化を踏まえて、プレゼンテーションや演劇ができるラーニングシアター、書道や華道ラーニングスタジオ、学生の多様な自習が可能なラーニング・コモンズの整備を行う。ラーニング・コモンズでは、その一部として国際コモンズも設置し、キャンパスアジア・プログラムの学生をはじめ、多様な留学生と日本人学生の交流を促進する役割を担う。

これらにより、収容定員の変更後でも衣笠キャンパスの他学部、他研究科も含めて変更前と同等の施設条件が整っていることとなる。

以上

教 育 課 程 等 の 概 要															
(文学部人文学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目 人 文 学 共 通 科 目	史学論	1・2・3・4前・後		2		○			1						兼1
	宗教学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	仏教論	1・2・3・4後		2		○									兼1
	神話学	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
	民俗学	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
	日本演劇論	1・2・3・4前		2		○									兼1
	社会学概論	1・2・3・4前		2		○			1						兼1
	ラテン語Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼1
	ラテン語Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1
	ギリシア語Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼1
	ギリシア語Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1
	キリスト教思想	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
	人文学のための情報処理・応用	3・4前・後		2		○									兼4
	English Reading & Discussion Ⅰ	2・3・4前		1				○	1	3					
	English Reading & Discussion Ⅱ	2・3・4後		1				○	1	3					
	Academic Writing & Presentation Ⅰ	2・3・4前		1				○		3					兼1
	Academic Writing & Presentation Ⅱ	2・3・4後		1				○		3					兼1
	Academic Listening and Study Skills Ⅰ	2・3・4前		1				○		2					兼2
	Academic Listening and Study Skills Ⅱ	2・3・4後		1				○		2					兼2
	言語・文化・社会AⅡ (海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後		2			○								兼1
	言語・文化・社会BⅢ (海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後		2			○								兼1
	言語・文化・社会BⅣ (海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後		2			○								兼1
	言語・文化・社会BⅤ (海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後		2			○								兼1
	言語・文化・社会BⅥ (海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後		2			○								兼1
	言語・文化・社会AⅠ (海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後		2			○								兼1
	言語・文化・社会DⅢ (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		4			○								兼1
	言語・文化・社会DⅣ (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		4			○								兼1
	言語・文化・社会DⅤ (海外留学プログラム)	1・2・3・4後		4			○								兼1
	デジタル人文学入門	1前		2			○			2					オムニバス
	デジタル人文学概論	1後		2			○			2					兼5 オムニバス
	コンピュータグラフィックス基礎演習Ⅰ	2前		2				○							兼1
	コンピュータグラフィックス基礎演習Ⅱ	2後		2				○							兼1
	WEB技術基礎演習Ⅰ	2前		2				○							兼1
	WEB技術基礎演習Ⅱ	2後		2				○							兼1
	テキスト情報処理演習Ⅰ	2後		2				○							兼1
	テキスト情報処理演習Ⅱ	3前		2				○							兼1
デジタルアーカイブ演習Ⅰ	3前		2				○							兼1	
デジタルアーカイブ演習Ⅱ	3後		2				○							兼1	
空間情報処理演習	3後		2				○							兼1	
コンピュータグラフィックス応用演習	3前・後		2				○							兼1	
データベース演習	3後		2				○							兼1	
海外エリアスタディ実習 (短期)	1・2・3・4前・後・休		2			○			2	1				集中、※実習	
海外エリアスタディ実習 (長期)	1・2・3・4前・後・休		4			○			1	1				集中、※実習	
論理と言語Ⅰ	2・3・4前		2			○			1						
論理と言語Ⅱ	2・3・4後		2			○			1						
フランス現代思想	2・3・4前・後		2			○			1					兼1	

人文 学共 通科 目	キャンパスアジア韓国実習	1休		2			○		1						集中	
	キャンパスアジア演習Ⅰ	1前		2			○		1	1						
	キャンパスアジア演習Ⅱ	1後		2			○		2							
	キャンパスアジア演習Ⅲ	2前・後		2			○		1	1					学部則にない	
	キャンパスアジア演習Ⅳ	3前・後		2			○		1	1						
	キャンパスアジア特殊講義	1・2・3・4前・後		1			○		1	1	1					
	キャンパスアジア特殊講義	1・2・3・4前・後		2			○		1	1						
	キャンパスアジア特殊講義	1・2・3・4前・後		3			○		1	1	1					
	キャンパスアジア特殊講義	1・2・3・4前・後		4			○		1	1						
	キャンパスアジア日本研究Ⅰ	2前・後		2			○			1						
	キャンパスアジア日本研究Ⅱ	3前・後		2			○								兼1	
	キャンパスアジア日本研究Ⅲ	3前・後		2			○								兼2	
	キャンパスアジア日本研究Ⅳ	4前・後		2			○			1						
	小計 (116科目)	—	0	275	0	—	—	—	23	14	2	0	0	兼61	—	
	学 域 科 目	人間研究入門講義	1前		2			○		8	7					オムニバス
日本文学入門		1後		2			○		4					兼2	オムニバス	
日本文学研究入門講義		1前		2			○		5						オムニバス	
日本史研究入門講義		1前		2			○		11	2					オムニバス	
東洋学のための言語入門		1前		2			○		1	1				兼3	オムニバス	
東アジア研究入門講義		1前		2			○		12	3					オムニバス	
東アジアを知るための読解と表現		1後		2			○		1					兼3		
国際文化入門講義		1前		2			○		17	3					オムニバス	
イスラーム学入門		1後		2			○			1						
地域調査入門		1前	2					○	8	6		3			兼2	
地域研究入門講義		1前		2				○	8	6					オムニバス	
国際コミュニケーション入門講義		1前		2				○	6	4						
言語コミュニケーション入門講義	1前		2				○	5	2							
小計 (13科目)	—	2	24	0	—	—	—	77	28	0	3	0	兼10	—		
専 門 科 目	研究入門Ⅰ	1前		2			○		77	28		1			オムニバス	
	研究入門Ⅱ	1後		2			○		77	28		1			オムニバス	
	基礎講読Ⅰ	2前		2			○		46	20	1	5				
	基礎講読Ⅱ	2後		2			○		46	20	1	4			兼1	
	専門演習Ⅰ	3前		2			○		70	25	1				兼4	
	専門演習Ⅱ	3後		2			○		70	25	1				兼4	
	専門演習Ⅲ	4前	2				○		69	25	1				兼4	
	専門演習Ⅳ	4後	2				○		69	25	1				兼4	
	専門演習Ⅴ	4前		2			○		69	25	1				兼4	
	専門演習Ⅵ	4後		2			○		69	25	1				兼4	
	卒業論文	4通	4				○		70	26	1				兼7	
小計 (11科目)	—	8	16	0	—	—	—	77	28	1	5	0	兼7	—		
哲 学 ・ 倫 理 学 専 攻	哲学概論Ⅰ	1後		2			○		1							
	哲学概論Ⅱ	1後		2			○		1	1						
	哲学概論Ⅲ	2前		2			○		1	1						
	倫理学概論Ⅰ	1後		2			○		1							
	倫理学概論Ⅱ	1後		2			○			1						
	哲学史Ⅰ	2前		2			○								兼1	
	哲学史Ⅱ	2後		2			○								兼1	
	哲学史Ⅲ	2前		2			○								兼1	
	哲学史Ⅳ	2後		2			○								兼1	
	哲学史Ⅴ	2前		2			○			1						
	哲学史Ⅵ	2後		2			○								兼1	
	倫理思想史Ⅰ	2前		2			○				1					
	倫理思想史Ⅱ	2後		2			○				1					
	応用倫理Ⅰ	2前		2			○			1						
	応用倫理Ⅱ	2後		2			○			1						
哲学特殊講義	2前・後		2			○				1				兼1		
身体論	2後		2			○		1								

専門科目	哲学・倫理学専攻	現代哲学特殊講義	2前・後		2		○			1		1			兼1	
		現象学	2前		2		○			1					兼1	
		倫理学特殊講義	2前・後		2		○					1			兼1	
		正義論	2前		2		○				1				兼1	
		哲学・倫理学外書講読	2前・後	2			○			1	1	1			兼1	
		哲学・倫理学文献講読	2前・後	2			○					1			兼1	
		小計 (23科目)	—	4	42	0		—		3	2	1	0	0	兼7	—
	教育人間学専攻	教育人間学概論 (人間形成) I	1後		2		○			1						
		教育人間学概論 (臨床教育) II	1後		2		○				1					
		教育人間学概論 (心理健康) III	1後		2		○			1						
		教育人間学概論 (人間形成) IV	2前		2		○			1						
		教育人間学概論 (臨床教育) V	2前		2		○								兼1	
		教育人間学概論 (心理健康) VI	2前		2		○				1					
		教育人間学研究法 I	2後		2		○			1						
		教育人間学研究法 II	2前・後		2		○					1				
		教育人間学研究法 III	2前・後		2		○								兼1	
		教育人間学研究法 IV	2後		2		○			1						
		教育人間学研究法 V	2前		2		○				1					
		教育人間学研究法 VI	2後		2		○				1					
		教育人間学外書講読	2前・後	2			○				1				兼2	
		教育人間学実習 I	2前	1				○		1			1		兼1	オムニバス
		教育人間学実習 II	2後	1				○		1			1		兼1	オムニバス
		教育人間学実習 III	3前		1			○		1			1		兼1	オムニバス
		教育人間学実習 IV	3後		1			○			1		1		兼1	オムニバス
文化の人間学	2後		2		○			1								
意識の人間学	2前		2		○											
自己の人間学	2前		2		○								兼1			
変容の人間学	2後		2		○								兼1			
教育臨床の人間学	2前		2		○				1							
超越の人間学	2前		2		○			1								
学校カウンセリング論	2前・後		2		○								兼2			
小計 (24科目)	—	4	40	0		—		5	3	0	1	0	兼10	—		
日本文学専攻	日本文学概論 I	1後		2		○			1							
	日本文学概論 II	1後		2		○			1							
	日本文学概論 III	2前		2		○			1							
	日本文学概論 IV	2前		2		○			1							
	日本文学の伝統と現代 I	2前		2		○			1							
	日本文学の伝統と現代 II	2後		2		○			1							
	日本文化の周辺 I	2前		2		○			1							
	日本文化の周辺 II	2後		2		○			1							
	日本文学作品研究	2前・後	2			○			8							
	日本語情報学文献講読	2前・後		2		○			1					兼2		
	日本文学の内と外 I	2前		2		○			1							
	日本文学の内と外 II	2前		2		○			1							
	日本文学の光と陰 I	2後		2		○			1							
	日本文学の光と陰 II	2後		2		○			1							
	日本文学応用研究 I	2前		2		○			1							
	日本文学応用研究 II	2後		2		○			1							
小計 (16科目)	—	2	30	0		—		9	0	0	0	0	兼2	—		
日本語情報学専攻	日本文学作品研究	2前・後		2		○			8							
	日本語情報学文献講読	2前・後	2			○			1					兼2		
	コーパス日本語学入門	2前		2		○			1							
	現代日本語研究	2・3前・後		2		○			2							
	日本語史研究	2・3前・後		2		○								兼1		
	日本語学概論	1後		2		○			1					兼1		
	日本語史概論	2前		2		○								兼1		
日本語の諸問題	3前・後		2		○			1					兼1			

日本語情報学専攻	図書館概論	2前		2		○				1								
	図書館情報技術論	2前		2		○				1								
	図書館制度・経営論	2前		2		○			1									
	図書館サービス概論	2後		2		○				1								
	情報サービス論	2前		2		○			1									
	図書館情報資源概論	2後		2		○				1								
	情報資源組織論	2後		2		○											兼1	
	小計(15科目)	—	2	28	0	—			10	1	0	0	0	0			兼6	—
	日本史学専攻	古文書学	3前・後		2		○											兼6
		日本史概論Ⅰ	1後		2		○			2	1							
		日本史概論Ⅱ	1後		2		○			3	1							
		日本史学総説Ⅰ	2前		2		○			2	1							
		日本史学総説Ⅱ	2後		2		○			1	1							
		日本史学総説Ⅲ	2前		2		○			1	1							
		日本史学総説Ⅳ	2後		2		○			1								
日本史学総説Ⅴ		2前		2		○			1									
日本文化史Ⅰ		2前		2		○			2	1								
日本文化史Ⅱ		2後		2		○			1	1								
日本思想史Ⅰ		2前		2		○			3									
日本思想史Ⅱ		2後		2		○			3									
日本社会史Ⅰ		2前		2		○			1	2								
日本社会史Ⅱ		2後		2		○			1	1								
日本古代史料講読演習		3前・後		2		○			2									
日本中世史料講読演習		3前・後		2		○			2	1								
日本近世史料講読演習		3前・後		2		○				1								
日本近代史料講読演習	3前・後		2		○			1										
日本現代史料講読演習	3前・後		2		○			1										
日本史特殊講義	3前・後		2		○												兼4	
小計(20科目)	—	0	40	0	—			7	0	0	0	0	0			兼10	—	
考古学・文化遺産専攻	考古学実習Ⅰ	2前	1					○	2								兼1	
	考古学実習Ⅱ	2後	1					○	2								兼1	
	考古学実習Ⅲ	2休		2				○	2									
	考古学・文化遺産外書講読	3前		2		○											兼1	
	考古学特殊講義	3後		2		○											兼1	
	考古学・文化遺産概論Ⅰ	1後		2		○			1									
	考古学・文化遺産概論Ⅱ	1後		2		○			1									
	考古学・文化遺産総説Ⅰ	2前		2		○			1									
	考古学・文化遺産総説Ⅱ	2後		2		○			1									
	考古学・文化遺産総説Ⅲ	2前		2		○			1									
	文化遺産の保護と活用	2後		2		○											兼1	
	世界の考古学・文化遺産	2後		2		○											兼1	
	考古科学	2前		2		○											兼1	
	博物館概論	2前		2		○			1								兼1	
	博物館経営論	3前		2		○											兼1	
	博物館資料論	2後		2		○			1								兼1	
	博物館資料保存論	3後		2		○											兼1	
	博物館展示論	2前		2		○			1								兼1	
	博物館情報・メディア論	3前		2		○											兼1	
博物館教育論	3後		2		○											兼1		
博物館・学内実習Ⅰ	2後		1				○	1								兼1		
博物館・館園実習	4通		1				○	1										
小計(22科目)	—	2	38	0	—			4	0	0	0	0	0			兼14	—	
中国文学・思想専攻	中国文学概論Ⅰ	1後		2		○			1									
	中国文学概論Ⅱ	2前		2		○			1									
	中国文学史Ⅰ	2前		2		○											兼1	
	中国文学史Ⅱ	2後		2		○											兼1	
	漢文入門	1後		2		○			1								兼1	

中国文学・思想専攻	中国文学・思想講読演習	2前・後	2				○			2					兼2	
	中国思想概論Ⅰ	1後		2			○			1						
	中国思想概論Ⅱ	2前		2			○			1						
	中国の文化Ⅰ	2前		2			○								兼1	
	中国の文化Ⅱ	2後		2			○								兼1	
	中国文学・思想研究の展開と課題	2前・後		2			○			1					兼2	
	中国文献学	2前		2			○			1						
	アジアの文学	2後		2			○								兼1	
	東アジア現地実習（韓国）	2休		2					○	1	1					集中
	東アジア現地実習（中国）	2休		4					○	1	2					集中
	東洋学のための情報処理	2前・後		2				○							兼1	
	漢文文献読解	2前		2				○		1						
	中国イニシエーション実習	1・2休		1					○	1	1				兼1	集中
	韓国イニシエーション実習	1・2休		1					○	1						集中
	小計（19科目）	—		2	36	0		—		7	3	1	0	0	兼10	—
	東洋史学専攻	漢文文献読解	2前		2			○			1					
東洋史概論Ⅰ		1後		2			○							兼1		
東洋史概論Ⅱ		2前		2			○			1						
東洋史概論Ⅲ		1後		2			○							兼1		
東洋史概論Ⅳ		2前		2			○			1						
東洋史学史		2後		2			○							兼1		
漢文入門		1後		2			○			1				兼1		
東洋史資料講読		2前・後	2				○			3				兼3		
東洋史学研究の方法		2前・後		2			○			1				兼1		
東アジア文化史の基礎知識		2前		2			○							兼1		
東アジア民族史の基礎知識		2後		2			○							兼1		
東アジア現地実習（韓国）		2休		2					○	1	1				集中	
東アジア現地実習（中国）		2休		4					○	1	2				集中	
東洋学のための情報処理	2前・後		2				○						兼1			
中国イニシエーション実習	1・2休		1					○	1	1			兼1	集中		
韓国イニシエーション実習	1・2休		1					○	1					集中		
小計（16科目）	—		2	30	0		—		7	2	1	0	0	兼7	—	
現代東アジア言語・文化専攻	現代東アジア言語・文化概論Ⅰ	1後		2			○			2	1				兼1	
	現代東アジア言語・文化概論Ⅱ	2前		2			○			1				兼2		
	現代東アジア言語・文化概論Ⅲ	2後		2			○			1				兼2		
	東アジア現代文化論Ⅰ	2後		2			○			1	1					
	東アジア現代文化論Ⅱ	2前		2			○							兼2		
	東アジア現代史論Ⅰ	2前		2			○				1					
	東アジア現代史論Ⅱ	2後		2			○			1						
	東アジア言語論	2前		2			○							兼1		
	現代中国研究Ⅰ	2前		2			○			1	1			兼2		
	現代中国研究Ⅱ	2後		2			○			1		1		兼1		
	現代韓国研究Ⅰ	2前		2			○			1				兼1		
	現代韓国研究Ⅱ	2後		2			○			1				兼1		
	アジアの文学	2後		2			○							兼1		
	現代東アジア言語・文化講読演習	2前・後	2						○		2			兼3		
	現代東アジア言語・文化特殊講義	2前・後		2				○						兼2		
	東アジア現地実習（韓国）	2休		2					○	1	1				集中	
東アジア現地実習（中国）	2休		4					○	1	2				集中		
東洋学のための情報処理	2前・後		2				○						兼1			
中国イニシエーション実習	1・2休		1					○	1	1			兼1	集中		
韓国イニシエーション実習	1・2休		1					○	1					集中		
小計（20科目）	—		2	38	0		—		5	5	1	0	0	兼14	—	
英米文学専攻	英米文学概論Ⅰ	1後		2			○			1						
	英米文学概論Ⅱ	2前		2			○				1					
	英書講読（Intermediate）	1後		2			○			1	1			兼2		
	英書講読（Advanced）	2前・後	2				○			1				兼4		

英米文学専攻	英文学史Ⅰ	2前		2		○			1										
	英文学史Ⅱ	2後		2		○			1										
	米文学史Ⅰ	2前		2		○			1										
	米文学史Ⅱ	2後		2		○			1										
	英米文学特殊講義	2前・後		2		○			4	1							兼1		
	英語論文演習	3前		2			○		1										
	英作文法	2前	2				○		4	1							兼1		
	英文演習	2後	2				○		4	1							兼1		
	英会話Ⅰ	2前		2			○		1									兼1	
	英会話Ⅱ	2後		2			○		1									兼1	
	翻訳演習	3前		2			○		1									兼1	
	文芸翻訳演習	3後		2			○		1									兼1	
	小計 (16科目)	—	6	26	0	—	—	—	5	1	0	0	0	0	0	0	0	兼6	—
	ヨーロッパ・イスラーム史専攻	ヨーロッパ史概論Ⅰ	1後		2		○			3									
		ヨーロッパ史概論Ⅱ	2前		2		○			3									
		イスラーム史概論Ⅰ	1後		2		○				1								
イスラーム史概論Ⅱ		2前		2		○				1									
ヨーロッパ古代史研究		2前		2		○			1									兼1	
ヨーロッパ中世史研究		2後		2		○			1									兼1	
ヨーロッパ近代史研究Ⅰ		2前		2		○			1									兼1	
ヨーロッパ近代史研究Ⅱ		2後		2		○			1									兼1	
ヨーロッパ現代史研究Ⅰ		2前		2		○			1									兼1	
ヨーロッパ現代史研究Ⅱ		2後		2		○			1									兼1	
イスラーム前近代史研究Ⅰ		2前		2		○				1								兼1	
イスラーム前近代史研究Ⅱ		2後		2		○				1								兼1	
イスラーム近現代史研究Ⅰ		2前		2		○				1								兼1	
イスラーム近現代史研究Ⅱ		2後		2		○				1								兼1	
アラビア語入門		2前・後		2			○												兼1
デジタル歴史研究		4後		2				○	3	1									
ヨーロッパ・イスラーム関係史		4前・後		2			○		3	1									
ヨーロッパ・イスラーム史文献講読Ⅰ		2前		2			○											兼1	
ヨーロッパ・イスラーム史文献講読Ⅱ	2後		2			○		3	1										
ヨーロッパ・イスラーム史基礎文献講読	1後		2			○		3	1										
アラビア語文献講読	3前		2			○												兼1	
小計 (21科目)	—	0	42	0	—	—	—	4	2	0	0	0	0	0	0	0	兼10	—	
文化芸術専攻	現代ヨーロッパ論	2後		2		○													兼1
	ポストコロニアル文化論	2前		2		○			1										
	ヨーロッパ文化史	2後		2		○			1										
	キリスト教文化史	1前		2		○													兼1
	フランス語圏の文学	2前		2		○				1									
	ドイツ語圏の文学	2前		2		○													兼1
	説話文学論	2後		2		○			1										
	比較文学論	2前		2		○													兼1
	パフォーマンス・アート論	2前		2		○			1										
	ヨーロッパの建築・デザイン	2前		2		○						1							
	日本・東洋美術史	2後		2		○			1										
	仏教と美術	2前		2		○			1										
	西洋美術史	2後		2		○			1										
	現代美術論	2前		2		○			1										
	西洋音楽史	2前		2		○			1										
	表象とメディア	2前		2		○			1										
	音楽と社会	2後		2		○			1										
	民族と芸術	2後		2		○													兼1
	グローバルヒストリー	2後		2		○			1										
	文化人類学	2後		2		○													兼1
テクノロジーと文化変容	2後		2		○													兼1	
宗教とイメージ	2後		2		○			1											

文化芸術専攻	地域と移動	2後		2		○			1									
	翻訳と文化	2後		2		○			1									
	ジェンダーと文化	2後		2		○			1									
	文化交流論	2前		2		○			1									
	英書リーディングⅠ	2前		2		○			3	1							兼3	
	英書リーディングⅡ	2後		2		○			2	1							兼4	
	英書リーディングⅢ	3前		2		○			5								兼1	
	英書リーディングⅣ	3後		2		○			3			1					兼2	
	外国文献リーディングⅠ	1前		2		○			3	1							兼3	
	外国文献リーディングⅡ	1後		2		○			2	1							兼4	
	外国文献リーディングⅢ	2前		2		○			5								兼1	
	外国文献リーディングⅣ	2後		2		○			3			1					兼2	
	文化芸術概論	1後		2		○			3									
	文化芸術特殊講義	2前・後		2		○				1								兼2
	言語と社会	2前・後		2		○			1									
	色彩文化論	2前		2		○												兼1
	イタリア文化研究	2前		2		○												兼1
	イタリア文化講義Ⅰ	2前		2		○												兼1
	イタリア文化講義Ⅱ	2後		2		○												兼1
	イタリアの文化とコミュニケーションⅠ	2前		2		○												兼1
	イタリアの文化とコミュニケーションⅡ	2後		2		○												兼1
	イタリアの文化とコミュニケーションⅢ	3前		2		○												兼1
	イタリアの文化とコミュニケーションⅣ	3後		2		○												兼1
	イタリアの文化とエクスペッションⅠ	2前		2		○												兼1
イタリアの文化とエクスペッションⅡ	2後		2		○												兼1	
イタリアの文化とエクスペッションⅢ	3前		2		○												兼1	
イタリアの文化とエクスペッションⅣ	3後		2		○												兼1	
小計(49科目)	—	0	98	0	—			14	3	0	1	0	兼20	—				
専門科目	自然地理学概論	1後		2		○			1	2								
	人文地理学概論	1後		2		○			7	6							オムニバス	
	地域観光学概論Ⅰ	1後		2		○			3	1							オムニバス	
	地誌(日本)	1後		2		○			7	6							兼1	
	地誌(世界)	1後		2		○			7	6							兼1	
	経済地理学	2前・後		2		○			2									
	村落地理学	2前・後		2		○			2									
	歴史地理学	2前・後		2		○			4									
	都市地理学	2前・後		2		○			2	1								
	文化地理学	2前・後		2		○			2	1								
	地域統計学	2前・後		2		○			1	3							兼1	
	地理情報学	2前・後		2		○			1	3							兼1	
	リモートセンシング学	2前・後		2		○				4		2					兼1	
	環境地理学	2前・後		2		○			1	3								
	GIS理論および実習Ⅰ	2前		2			○			4		2					兼1	
	GIS理論および実習Ⅱ	2後		2			○			4		2					兼1	
	地理学特殊講	3・4後		2		○			3	5	5							
	製図学および実習Ⅰ	2前		2			○										兼2	
	製図学および実習Ⅱ	2後		2			○										兼2	
	測量学および実習Ⅰ	3前		3		○											兼1	
	測量学および実習Ⅱ	3後		3		○											兼1	
	地理学調査法	2前・後		2			○		5	5							兼1	
	地理学フィールドワークⅠ	2前・後		2			○		5	5								
	地理学フィールドワークⅡ	2前・後		2			○		5	5								
小計(24科目)	—	0	50	0	—			7	6	5	2	0	兼8	—				
地域観光学専攻	地域観光学概論Ⅰ	1後		2		○			3	1							オムニバス	
	地域観光学概論Ⅱ	2前		2		○			2	1								
	自然地理学概論	1後		2		○			1	2								
	人文地理学概論	1後		2		○			7	6							オムニバス	
	地域観光学フィールドワーク(日本)	2・3・4前・後		2			○		3	1								
	地域観光学フィールドワーク(世界)	2・3・4休		2			○		4	2		2					集中	
地域観光学フィールドワーク(発展)	3・4休		2			○		3	1							集中		

地域観光学専攻	地域観光学応用研究	3後		2			○		1									
	ツーリズム地域論	2前・後		2			○		2	1							兼1	
	地域観光文化論	2前・後		2			○		2	1							兼1	
	地域観光学特殊講義	3前・後		2			○		3	1							兼4	
	地誌（世界）	1後		2			○		7	6							兼1	
	地誌（日本）	1後		2			○										兼1	
	リモートセンシング学	2前・後		2			○			4		2					兼1	
	GIS理論および実習 I	2前		2				○		4		2					兼1	
	GIS理論および実習 II	2後		2				○		4		2					兼1	
	地域観光学調査法	2前・後		2				○		3	1							兼2
	地域観光学のための製図	2前・後		2				○										兼2
	小計（18科目）	—	0	36	0			—		7	6	0	2	0			兼7	—
英語圏文化専攻	Introduction to Culture of English-Speaking Regions and Society	1後		2			○		1									
	Introduction to Multicultural Society of English-Speaking Regions	1後		2			○		1									
	Cultural History of the English Language	1後		2			○			1								
	Popular Culture in English-Speaking Regions	2後		2			○			1								
	英語文献講読	2前・後		2			○		4	1							兼1	
	翻訳研究	3前		2				○									兼1	
	通訳研究	3後		2				○									兼1	
	Academic Presentation I	2前		1				○	3	2							兼1	
	Academic Presentation II	2後		1				○	3	2							兼1	
	Academic Reading & Discussion I	2前		1				○	3	2							兼1	
	Academic Reading & Discussion II	2後		1				○	3	2							兼1	
	Academic Writing I	2前	1					○	3	2							兼1	
	Academic Writing II	2後	1					○	3	2							兼1	
	Thesis Writing	3後	2					○	4	1								
	運用のための文法活用	2前		2				○		2								
	国際コミュニケーション実習	3休		4					○	9	6							集中
	大西洋世界の文化移動と展開	2前・後		2				○	1	1								兼1
	Dynamism of the Pacific World	2前・後		2				○	1									
	ブリテン諸島周辺文化の多様性	2前・後		2				○		1								兼1
	日米関係史	2前・後		2				○	1									兼1
	Culture and History of English-Speaking Regions	2後		2				○		1								兼1
	英語圏文化探究 I	2前・後		2				○	3	2								兼1
	英語圏文化探究 II	2前・後		2				○	3	2								兼1
	Introduction to Vernacular Culture	2前・後		2				○	1	1								兼1
小計（24科目）	—	4	40	0			—		9	6	0	0	0			兼11	—	
国際英語専攻	Introduction to Multilingualism	1後		2			○		2									
	英語学概論	2前・後		2			○		1									
	Introduction to Language Studies	1後		2			○		1	1								
	英語教育リサーチ入門	2後		2			○		3	1								オムニバス
	英語文法論	2前		2			○		1									
	英語科教育概論	2前・後		2			○		2	1								
	英語音声学	2後		2			○		2									
	第二言語習得論	3前		2			○		2	1								
	英語科授業発展演習	3後		2				○	1	1								
	英語科指導法 I	2前・後		2				○	2	1								
	英語科指導法 II	3前・後		2				○	2	1								
	英語科授業法	3前・後		2					3	1								
	Academic Presentation I	2前		1				○	3	2								兼1
	Academic Presentation II	2後		1				○	3	2								兼1
	Academic Reading & Discussion I	2前		1				○	3	2								兼1
	Academic Reading & Discussion II	2後		1				○	3	2								兼1
	Academic Writing I	2前	1					○	3	2								兼1
	Academic Writing II	2後	1					○	3	2								兼1
	Thesis Writing	3後	2					○	4	1								
	運用のための文法活用	2前		2				○		2								

国際英語専攻	国際コミュニケーション実習	3休		4			○	9	6						集中	
	Englishes in Contact	3前		2		○		2								
	English in Society	3後		2		○		2								
	Issues in Language Education	2後		2		○		1	1							
	Innovations in Language Teaching	3前		2		○		1								
	Language and Technology	3後		2		○		1								
	Teaching English to Young Learners	3前		2		○		2	1							
	小計 (27科目)	—	4	46	0	—	—	9	6	0	0	0	0	兼3	—	
	コミュニケーション表現専攻	ライティングの技法	2前		2		○		1	1					兼1	
		言語表現メディア概論	1後		2		○		1	2						
		コミュニケーション学概論	1後		2		○		1	1						
		コミュニケーション表現法基礎 I	1後		2			○	1	1						
		コミュニケーション表現法基礎 II	1後		2			○	1	1						
		コミュニケーション表現法応用 I	2前		2			○	1	1						
		コミュニケーション表現法応用 II	2後		2			○	1	1						
		コミュニケーション論	2後		2		○		1							
		コミュニケーション表現リサーチデザイン	2前		2		○		2	2						
		コミュニケーション分析	2後		2		○		1	1					兼1	
		言語表現メディア作品研究	2前		2		○		1						兼1	
マルチモーダルコミュニケーション		2後		2					1							
文章表現基礎研究		2前		2		○		1						兼1		
共生コミュニケーション演習		2前・後		2			○	2								
音声表現実践演習		2後		2			○	1						兼1		
文章表現の編集技法		2後		2			○							兼2		
コミュニケーション探究 I		2前		2		○		1	1					兼1		
コミュニケーション探究 II	2後		2		○		1	1					兼1			
言語表現メディア探究	2後		2		○		1	2					兼1			
小計 (19科目)	—	0	38	0	—	—	3	2	0	0	0	0	兼8	—		
言語学・日本語教育専攻	言語学概論	1後		2		○		2						兼1		
	日本語教育学概論	1後		2		○		2						兼1		
	異文化間コミュニケーション	2前		2		○		1								
	応用言語学	2後		2		○		3						兼1		
	対照言語学	2前		2		○		2						兼1		
	日本語教育事情演習	2前		2			○	2						兼1		
	日本語教育のための日本語文法演習	2後		2			○	3								
	共生コミュニケーション演習	2前・後		2			○	2								
	日本語教授法演習 I	2前		2			○	2						兼1		
	日本語教授法演習 II	2後		2			○	2						兼1		
	日本語教授法演習 III	3前		2			○	2						兼1		
	日本語教育研修 I	3前・後		2			○	2						兼1		
	日本語教育研修 II	3後		2			○	1						兼1		
	言語学・日本語教育リサーチデザイン	2前		2			○	4								
	言語学探究 I	2前		2		○		3						兼1		
言語学探究 II	2後		2		○		4						兼1			
言語科学特論	2前		2		○		2						兼1			
小計 (17科目)	—	0	34	0	—	—	5	0	0	0	0	0	兼10	—		
基礎科目	リテラシー入門	1前		2		○		8	4					兼4	オムニバス	
	ライティング入門	1後		2		○		1			1			兼4		
	情報処理入門	1・2前・後		2		○					1			兼4		
	人文学のための情報処理 I	2・3前		2		○								兼4		
	人文学のための情報処理 II	2・3後		2		○								兼3		
小計 (5科目)	—	0	10	0	—	—	8	4	0	2	0	0	兼10	—		
教養科目	哲学と人間	1・2・3・4前・後		2		○			1							
	人間性と倫理	1・2・3・4前・後		2		○		1								
	心理学入門	1・2・3・4前・後		2		○								兼1		
	論理と思考	1・2・3・4前・後		2		○			1							
	科学技術と倫理	1・2・3・4前・後		2		○			1							

教養科目	宗教と社会	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	メンタルヘルス	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	(留) 日本の文化・地理・歴史	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	社会学入門	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	文化人類学入門	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	文学と社会	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	現代の教育	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	映像と表現	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	美と芸術の論理	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	メディアと現代文化	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	スポーツの歴史と発展	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	スポーツと現代社会	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	観光学	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	京都学	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	(留) 日本語学	2・3・4前・後	2	○								兼1
	世界と日本の食文化	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	現代社会と法	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	市民と政治	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	経済と社会	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	企業と社会	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	現代日本の政治	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	現代の国際関係と日本	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	日本経済概説	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	現代の世界経済	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	現代の経営	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	社会と福祉	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	災害と安全	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	(留) 日本の社会・政治	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	(留) 日本の経済・経営	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	歴史観の形成	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	エリアスタディ入門	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	新しい日本史像	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	東アジアと朝鮮半島	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	ヨーロッパの歴史	1・2・3・4前・後	2	○			1					
	イスラーム世界の多様性	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	日本の近現代と立命館	1・2前・後	2	○								兼1
	科学的な見方・考え方	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	宇宙科学	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	地球科学	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	生命科学 (分子と生命)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	生命科学 (生物と生態系)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	現代環境論	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	科学と技術の歴史	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	生命科学と倫理	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	科学・技術と社会	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	(留) 日本の自然・科学技術	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	スポーツのサイエンス	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	現代人とヘルスケア	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
	数理の世界	1・2・3・4前・後	2	○								兼1
情報の数理	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
情報科学	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
情報技術と社会	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
統計学	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
教養ゼミナール	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
ピア・サポート論	1・2前・後	2	○								兼1	
異文化間テーマ演習	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	

教養科目	スポーツ方法実習Ⅰ	1・2・3・4前・後	1				○					兼1	
	スポーツ方法実習Ⅱ	1・2・3・4前・後	1				○					兼1	
	特殊講義	1・2・3・4後	1		○							兼1	※実習
	特殊講義	1・2・3・4後	2		○							兼1	※実習
	特殊講義	1・2・3・4後	3		○							兼1	※実習
	特殊講義	1・2・3・4後	4		○							兼1	※実習
	特殊講義	1・2・3・4後	5		○							兼1	※実習
	特殊講義	1・2・3・4後	6		○							兼1	※実習
	特殊講義	1・2・3・4後	7		○							兼1	※実習
	特殊講義	1・2・3・4後	8		○							兼1	※実習
	文化・社会調査 (海外留学プログラム)	1・2・3・4後	2				○		1				
	異文化理解セミナー (海外留学プログラム)	1・2・3・4後	2				○		1				
	日豪関係Ⅳ (海外留学プログラム)	1・2・3・4後	1				○		1				
	外国留学科目 (教養)	1・2・3・4前・後	1		○				1				
	外国留学科目 (教養)	1・2・3・4前・後	2		○				1				
	外国留学科目 (教養)	1・2・3・4前・後	3		○				1				
	外国留学科目 (教養)	1・2・3・4前・後	4		○				1				
	外国留学科目 (教養)	1・2・3・4前・後	5		○				1				
	外国留学科目 (教養)	1・2・3・4前・後	6		○				1				
	外国留学科目 (教養)	1・2・3・4前・後	7		○				1				
	外国留学科目 (教養)	1・2・3・4前・後	8		○				1				
	外国留学科目 (中国の社会)	1・2・3・4前・後	2		○				1				
	外国留学科目 (中国の歴史)	1・2・3・4前・後	2		○				1				
	外国留学科目 (中国の文化)	1・2・3・4前・後	2		○				1				
	外国留学科目 (韓国の社会)	1・2・3・4前・後	2		○				1				
	外国留学科目 (韓国の歴史)	1・2・3・4前・後	2		○				1				
	外国留学科目 (韓国の文化)	1・2・3・4前・後	2		○				1				
	言語・文化・社会AIX (海外留学プログラム)	1・2・3・4後	2		○				1				
	言語・文化・社会AX (海外留学プログラム)	1・2・3・4後	2		○				1				
	言語・文化・社会DII (海外留学プログラム)	1・2・3・4後	2				○		1				
	単位互換科目	1・2・3・4前	1		○				1				※実習
	単位互換科目	1・2・3・4前・後	2		○				1				※実習
	単位互換科目	1・2・3・4前・後	4		○				1				※実習
	地域参加学習入門	1・2前・後	2		○							兼1	
	現代社会のフィールドワーク	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	学びとキャリア	1・2前・後	2		○							兼1	
	仕事とキャリア	2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Introduction to Law	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Modern World History	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Japan and the West	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Kyoto and the Japanese Arts	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Special Lecture	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Introduction to Linguistics	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Introduction to Anthropology	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Introduction to Natural Science	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Asian Community Leadership Seminar	2・3・4前・後	2		○							兼1	※実習
	Introduction to Humanities	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Introduction to the United Nations	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Introduction to Peace Studies	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Introduction to Gender Studies	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
Understanding Visual Culture	1・2・3・4前・後	2		○							兼1		
Introduction to Global Justice	1・2・3・4前・後	2		○							兼1		
Sustainable Development Goals (SDGs) in a Nutshell	1・2・3・4前・後	2		○							兼1		
APU交流科目	2・3・4前・後	1		○				1					
APU交流科目	2・3・4前・後	2		○				1					
APU交流科目	2・3・4前・後	4		○				1					

教養科目	ジェンダーとダイバーシティ	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	現代平和論	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	戦争の歴史と思想	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	平和人権フィールドスタディ	2・3・4前・後	2		○							兼1	
	実践データ科学	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	世界の言語と文化	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	メディアと図書館	1・2前・後	2	○					1			兼1	
	(留) 日本語学	2・3・4前・後	2	○								兼1	
	音楽原論	1・2・3・4前・後	2	○				1				兼1	
	映像メディア実践入門	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	文芸創作論	1・2・3・4前・後	2	○				1				兼1	
	国の行政組織	1・2前・後	2	○								兼1	
	ソーシャルデザイン論	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	アメリカの社会と文化	1・2・3・4前・後	2	○				1				兼1	
	材料と化学	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	近現代の科学技術	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	Liberal Arts Seminar	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Playing with Playfulness	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	Cross-cultural Encounters 1	1・2前・後	2		○							兼1	
	Cross-cultural Encounters 2	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Cross-cultural Studies	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	Cross-cultural Seminar	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Academic Skills 1	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	Academic Skills 2	1・2・3・4前・後	2		○							兼1	
	現代社会とボランティア	1・2前・後	2	○								兼1	
	シチズンシップ・スタディーズ	2・3・4前・後	2		○							兼1	
	社会と学ぶ課題解決	1前・後	2		○							兼1	
	コーオプ演習(理論)	2・3・4前・後	2		○							兼1	
	コーオプ演習(実践)	2・3・4前・後	2		○							兼1	
	超領域リベラルアーツ	3・4前・後	2		○							兼1	
小計(148科目)	—	0	335	0	—		11	3	0	0	0	兼75	—
外国語科目 一般科目	英語Ⅰ	1前	1	○				1				兼16	
	英語Ⅱ	1前	1	○			2					兼14	
	英語Ⅲ	1前	1	○			2					兼14	
	英語Ⅳ	1後	1	○				1				兼16	
	英語Ⅴ	1後	1	○			2					兼14	
	英語Ⅵ	1後	1	○			2					兼14	
	英語Ⅶ	2前	1	○			1	3				兼11	
	英語Ⅷ	2後	1	○			3	3				兼8	
	ドイツ語・基礎	1前	2	○								兼4	集中
	ドイツ語・表現Ⅰ	1前	1	○								兼5	
	ドイツ語・表現Ⅱ	1後	1	○								兼5	
	ドイツ語・展開	1後	2	○								兼4	集中
	ドイツ語・応用Ⅰ	2・3・4前	1	○								兼1	
	ドイツ語・応用Ⅱ	2・3・4後	1	○								兼1	
	フランス語・基礎	1前	2	○					1			兼3	集中
	フランス語・表現Ⅰ	1前	1	○								兼5	
	フランス語・表現Ⅱ	1後	1	○								兼5	
	フランス語・展開	1後	2	○					1			兼4	集中
	フランス語・応用Ⅰ	2・3・4前	1	○			1					兼1	
	フランス語・応用Ⅱ	2・3・4後	1	○			1					兼1	
	中国語・基礎	1前	2	○			1	1				兼8	集中
	中国語・表現Ⅰ	1前	1	○								兼8	
	中国語・表現Ⅱ	1後	1	○								兼8	
中国語・展開	1後	2	○			1	1				兼8	集中	
中国語・応用Ⅰ	2・3・4前	1	○					1			兼2		
中国語・応用Ⅱ	2・3・4後	1	○					1			兼2		

外国語科目	一般科目	スペイン語・基礎	1前	2	○								兼6	集中
		スペイン語・表現Ⅰ	1前	1	○								兼5	
		スペイン語・表現Ⅱ	1後	1	○								兼5	
		スペイン語・展開	1後	2	○								兼6	集中
		スペイン語・応用Ⅰ	2・3・4前	1	○								兼1	
		スペイン語・応用Ⅱ	2・3・4後	1	○								兼1	
		朝鮮語・基礎	1前	2	○								兼5	集中
		朝鮮語・表現Ⅰ	1前	1	○								兼3	
		朝鮮語・表現Ⅱ	1後	1	○								兼3	
		朝鮮語・展開	1後	2	○								兼3	集中
		朝鮮語・応用Ⅰ	2・3・4前	1	○								兼2	
		朝鮮語・応用Ⅱ	2・3・4後	1	○								兼2	
		イタリア語・基礎	1前	2	○								兼2	集中
		イタリア語・表現Ⅰ	1前	1	○								兼2	
		イタリア語・表現Ⅱ	1後	1	○								兼1	
		イタリア語・展開	1後	2	○								兼2	集中
		イタリア語・応用Ⅰ	2・3・4前	1	○								兼1	
		イタリア語・応用Ⅱ	2・3・4後	1	○								兼1	
		日豪関係Ⅰ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後	5	○	○							兼1	
		外国留学科目(外国語(英語))	1・2・3・4前・後	1	○				1				兼1	
		外国留学科目(外国語(英語))	1・2・3・4前・後	2	○				1				兼1	
		外国留学科目(外国語(英語))	1・2・3・4前・後	3	○				1				兼1	
		外国留学科目(外国語(英語))	1・2・3・4前・後	4	○				1				兼1	
		外国留学科目(外国語(英語))	1・2・3・4前・後	5	○				1				兼1	
		外国留学科目(外国語(英語))	1・2・3・4前・後	6	○				1				兼1	
		外国留学科目(外国語(英語))	1・2・3・4前・後	7	○				1				兼1	
		外国留学科目(外国語(英語))	1・2・3・4前・後	8	○				1				兼1	
		外国留学科目(初修外国語)	1・2・3・4前・後	1	○				1				兼1	
		外国留学科目(初修外国語)	1・2・3・4前・後	2	○				1				兼1	
		外国留学科目(初修外国語)	1・2・3・4前・後	3	○				1				兼1	
		外国留学科目(初修外国語)	1・2・3・4前・後	4	○				1				兼1	
		外国留学科目(初修外国語)	1・2・3・4前・後	5	○				1				兼1	
		外国留学科目(初修外国語)	1・2・3・4前・後	6	○				1				兼1	
		外国留学科目(初修外国語)	1・2・3・4前・後	7	○				1				兼1	
		外国留学科目(初修外国語)	1・2・3・4前・後	8	○				1				兼1	
		外国留学科目(中国語)	1・2・3・4前・後	1	○				1				兼1	
		外国留学科目(朝鮮語)	1・2・3・4前・後	1	○				1				兼1	
		SpeakingⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		ListeningⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		ReadingⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		WritingⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		SpeakingⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後	1	○								兼1	
		ListeningⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後	1	○								兼1	
		ReadingⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後	1	○								兼1	
		WritingⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後	1	○								兼1	
		SpeakingⅢ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		ListeningⅢ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		ReadingⅢ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		WritingⅢ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
		GrammarⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1	
GrammarⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後	1	○								兼1			
Speaking & ListeningⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	1	○								兼1			
Speaking & ListeningⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後	1	○								兼1			
言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4前	3	○								兼1			
言語・文化・社会DⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後	2	○								兼1			
Academic English Skills(海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1			
English as Second Language(海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後	2	○								兼1			

外国語科目	一般科目	English Language Skills and Competencies (海外留学プログラム)	1・2・3・4前・後	2	○									兼1		
		朝鮮語 (キャンパスアジア) I	1前	1	○				2						兼1	
		朝鮮語 (キャンパスアジア) II	1後	1	○				2						兼1	
		朝鮮語 (キャンパスアジア) III	1前	1	○				2						兼1	
		朝鮮語 (キャンパスアジア) IV	1後	1	○				2						兼1	
		中国語 (キャンパスアジア) I	1前	1	○				1	1					兼1	
		中国語 (キャンパスアジア) II	1後	1	○				1	1					兼1	
		中国語 (キャンパスアジア) III	1後	1	○				1	1					兼1	
		中国語 (キャンパスアジア) IV	1後	1	○				1	1					兼1	
		朝鮮語 (キャンパスアジア) V	1後	1	○				2						兼1	
		朝鮮語 (キャンパスアジア) VI	1後	1	○				2						兼1	
		中国語 (キャンパスアジア) V	1後	1	○				1	1					兼1	
		中国語 (キャンパスアジア) VI	1後	1	○				1	1					兼1	
		日本語Ⅷ (アカデミック日本語a)	2・3・4前	1		○									兼2	
		日本語Ⅷ (アカデミック日本語b)	2・3・4後	1		○									兼2	
		日本語Ⅷ (キャリア日本語a)	2・3・4前	1		○									兼2	
		日本語Ⅷ (キャリア日本語b)	2・3・4後	1		○									兼2	
		日本語Ⅶ (文章表現a)	1・2・3・4前	1		○									兼5	
		日本語Ⅶ (文章表現b)	1・2・3・4後	1		○									兼5	
		日本語Ⅶ (読解a)	1・2・3・4前	1		○									兼5	
		日本語Ⅶ (読解b)	1・2・3・4後	1		○									兼5	
		日本語Ⅶ (聴解口頭a)	1・2・3・4前	1		○									兼6	
		日本語Ⅶ (聴解口頭b)	1・2・3・4後	1		○									兼6	
		日本語Ⅵ (総合)	1・2・3・4前・後	3		○									兼2	集中
		日本語Ⅵ (聴解口頭)	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	集中
		日本語Ⅵ (ライティング)	1・2・3・4前・後	1		○									兼2	
		日本語Ⅵ (キャリア日本語)	1・2・3・4前・後	1		○									兼1	
		相互文化テーマ演習	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	
		日本語Ⅴ (総合)	1・2・3・4前・後	5		○									兼8	集中
		日本語Ⅴ (聴解口頭)	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	集中
		日本語Ⅴ (ライティング)	1・2・3・4前・後	1		○									兼3	
		日本語Ⅳ (総合)	1・2・3・4前・後	5		○									兼4	集中
		日本語Ⅳ (聴解口頭)	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	集中
		日本語Ⅳ (ライティング)	1・2・3・4前・後	1		○									兼3	
		日本語Ⅲ (総合)	1・2・3・4前・後	5		○									兼6	集中
		日本語Ⅲ (聴解口頭)	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	集中
		日本語Ⅲ (ライティング)	1・2・3・4前・後	1		○									兼2	
		日本語Ⅱ (総合)	1・2・3・4前・後	5		○									兼3	集中
		日本語Ⅱ (聴解口頭)	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	集中
		日本語Ⅱ (ライティング)	1・2・3・4前・後	1		○									兼1	
		日本語Ⅰ (総合)	1・2・3・4前・後	5		○									兼3	集中
日本語Ⅰ (聴解口頭)	1・2・3・4前・後	2		○									兼1	集中		
日本語Ⅰ (ライティング)	1・2・3・4前・後	1		○									兼1			
(留) 日本語 (総合・キャンパスアジア I)	2前・後	5		○									兼2			
日本語 (総合・キャンパスアジア I)	2前・後	3		○									兼2			
日本語 (聴解口頭・キャンパスアジア I)	2前・後	2		○									兼4			
日本語 (ライティング・キャンパスアジア I)	2前・後	1		○									兼4			
日本語 (キャリア日本語・キャンパスアジア I)	2前・後	1		○									兼1			
相互文化テーマ演習 (キャンパスアジア I)	2前・後	2		○			1	1								
日本語 (総合・キャンパスアジア II)	3前・後	5		○									兼8			
日本語 (総合・キャンパスアジア II)	3前・後	3		○									兼8			
日本語 (聴解口頭・キャンパスアジア II)	3前・後	2		○									兼2			
日本語 (ライティング・キャンパスアジア II)	3前・後	1		○									兼2			
日本語 (キャリア日本語・キャンパスアジア II)	3前・後	1		○									兼2			
相互文化テーマ演習 (キャンパスアジア II)	3前・後	2		○				1	1							
小計 (138科目)	—	0	261	0	—		4	6	1	0	0	兼127	—			

外国語科目	単位回復科目	英語音声演習1	1・2・3・4前	1	○				1				兼1
		英語音声演習2	1・2・3・4後	1	○			1					兼1
		英語読解演習1	1・2・3・4前	1	○								兼1
		英語読解演習2	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本ドイツ語（表現）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本ドイツ語（表現）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本ドイツ語（文化）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本ドイツ語（文化）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本ドイツ語（社会）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本ドイツ語（社会）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本ドイツ語（生活）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本ドイツ語（生活）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本フランス語（表現）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本フランス語（表現）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本フランス語（文化）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本フランス語（文化）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本フランス語（社会）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本フランス語（社会）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本フランス語（生活）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本フランス語（生活）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本中国語（表現）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本中国語（表現）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本中国語（文化）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本中国語（文化）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本中国語（社会）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本中国語（社会）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本中国語（生活）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本中国語（生活）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本スペイン語（表現）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼2
		基本スペイン語（表現）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本スペイン語（文化）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本スペイン語（文化）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本スペイン語（社会）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本スペイン語（社会）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本スペイン語（生活）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本スペイン語（生活）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本朝鮮語（表現）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本朝鮮語（表現）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本朝鮮語（文化）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本朝鮮語（文化）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本朝鮮語（社会）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本朝鮮語（社会）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本朝鮮語（生活）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本朝鮮語（生活）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本イタリア語（表現）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本イタリア語（表現）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本イタリア語（文化）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本イタリア語（文化）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本イタリア語（社会）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本イタリア語（社会）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
		基本イタリア語（生活）Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1
		基本イタリア語（生活）Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1
小計（52科目）	—	0	52	0	—		0	1	0	0	0	兼20	—

外国語科目 既習者対応プログラム科目	ドイツ語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前	1	○								兼1	
	ドイツ語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後	1	○								兼1	
	ドイツ語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○								兼1	
	ドイツ語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○								兼1	
	ドイツ語上級コミュニケーションⅢ	2・3・4前	1	○								兼1	
	ドイツ語上級コミュニケーションⅣ	2・3・4後	1	○								兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前	1	○								兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後	1	○								兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4後	1	○								兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4前	1	○								兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4後	1	○								兼1	
	ドイツ語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前	1	○								兼1	
	ドイツ語上級表現読解Ⅱ	2・3・4前	1	○								兼1	
	ドイツ語上級表現読解Ⅲ	2・3・4後	1	○					1				
	ドイツ語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後	1	○					1				
	フランス語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前	1	○									兼1
	フランス語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後	1	○									兼1
	フランス語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○									兼1
	フランス語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○									兼1
	フランス語上級コミュニケーションⅢ	2・3・4前	1	○									兼1
	フランス語上級コミュニケーションⅣ	2・3・4後	1	○									兼1
	フランス語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前	1	○									兼1
	フランス語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後	1	○									兼1
	フランス語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4後	1	○									兼1
	フランス語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4前	1	○									兼1
	フランス語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4後	1	○									兼1
	フランス語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前	1	○									兼1
	フランス語上級表現読解Ⅱ	2・3・4前	1	○									兼1
	フランス語上級表現読解Ⅲ	2・3・4後	1	○					1				
	フランス語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後	1	○					1				
	朝鮮語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前	1	○									兼3
	朝鮮語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後	1	○									兼3
	朝鮮語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○									兼2
	朝鮮語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○									兼2
	朝鮮語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前	2	○									兼3
	朝鮮語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後	2	○									兼2
	朝鮮語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4前	2	○									兼3
	朝鮮語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4後	2	○									兼3
	朝鮮語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4前	2	○									兼2
	朝鮮語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前	2	○									兼3
	朝鮮語上級表現読解Ⅱ	2・3・4後	2	○									兼3
	朝鮮語上級表現読解Ⅲ	2・3・4前	2	○									兼3
朝鮮語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後	2	○									兼3	
中国語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前	1	○									兼1	
中国語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後	1	○									兼1	
中国語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○									兼1	
中国語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○									兼1	
中国語上級コミュニケーションⅢ	2・3・4前	1	○									兼1	
中国語上級コミュニケーションⅣ	2・3・4後	1	○									兼1	
中国語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前	1	○									兼1	
中国語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後	1	○									兼1	
中国語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4後	1	○									兼1	
中国語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4前	1	○									兼1	
中国語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4後	1	○									兼1	
中国語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前	1	○									兼1	
中国語上級表現読解Ⅱ	2・3・4前	1	○									兼1	
中国語上級表現読解Ⅲ	2・3・4後	1	○					1					

外国語科目	既習者対応プログラム科目	中国語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後	1	○			1								
		スペイン語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前	1	○										兼3	
		スペイン語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後	1	○										兼3	
		スペイン語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○										兼2	
		スペイン語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○										兼2	
		スペイン語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前	2	○										兼3	
		スペイン語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後	2	○										兼3	
		スペイン語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4前	2	○										兼4	
		スペイン語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4後	2	○										兼3	
		スペイン語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4前	2	○										兼3	
		スペイン語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前	2	○										兼3	
		スペイン語上級表現読解Ⅱ	2・3・4後	2	○										兼3	
		スペイン語上級表現読解Ⅲ	2・3・4前	2	○										兼2	
		スペイン語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後	2	○										兼2	
小計 (71科目)		—	0	89	0	—		1	2	0	0	0	0	兼36	—	
外国語科目	発展科目 (副専攻科目)	専門ドイツ語Ⅰ	2・3・4前	2	○				1						兼1	
		専門ドイツ語Ⅱ	2・3・4後	2	○				1						兼1	
		専門ドイツ語Ⅲ	2・3・4前	2	○										兼2	
		専門ドイツ語Ⅳ	2・3・4後	2	○										兼2	
		専門ドイツ語Ⅴ	3・4前	2	○										兼2	
		専門ドイツ語Ⅵ	3・4後	2	○										兼2	
		専門ドイツ語Ⅶ	3・4前	2	○										兼2	
		専門ドイツ語Ⅷ	3・4後	2	○					1						
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○										兼3	
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○										兼3	
		ドイツ語コミュニケーションⅢ	3・4前	1	○										兼2	
		ドイツ語コミュニケーションⅣ	3・4後	1	○										兼2	
		専門フランス語Ⅰ	2・3・4前	2	○										兼3	
		専門フランス語Ⅱ	2・3・4後	2	○										兼3	
		専門フランス語Ⅲ	2・3・4前	2	○										兼3	
		専門フランス語Ⅳ	2・3・4後	2	○										兼3	
		専門フランス語Ⅴ	3・4前	2	○										兼3	
		専門フランス語Ⅵ	3・4後	2	○										兼3	
		専門フランス語Ⅶ	3・4前	2	○					1					兼3	
		専門フランス語Ⅷ	3・4後	2	○					1					兼3	
		フランス語コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○										兼3	
		フランス語コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○										兼3	
		フランス語コミュニケーションⅢ	3・4前	1	○										兼3	
		フランス語コミュニケーションⅣ	3・4後	1	○										兼3	
		専門中国語Ⅰ	2・3・4前	2	○										兼5	
		専門中国語Ⅱ	2・3・4後	2	○										兼5	
		専門中国語Ⅲ	2・3・4前	2	○										兼5	
		専門中国語Ⅳ	2・3・4後	2	○										兼5	
		専門中国語Ⅴ	3・4前	2	○										兼5	
		専門中国語Ⅵ	3・4後	2	○										兼5	
		専門中国語Ⅶ	3・4前	2	○					1					兼4	
		専門中国語Ⅷ	3・4後	2	○					1					兼4	
		中国語コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○										兼5	
		中国語コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○										兼5	
		中国語コミュニケーションⅢ	3・4前	1	○										兼3	
		中国語コミュニケーションⅣ	3・4後	1	○										兼3	
		専門スペイン語Ⅰ	2・3・4前	2	○										兼3	
		専門スペイン語Ⅱ	2・3・4後	2	○										兼3	
		専門スペイン語Ⅲ	2・3・4前	2	○										兼4	
		専門スペイン語Ⅳ	2・3・4後	2	○										兼3	
専門スペイン語Ⅴ	3・4前	2	○										兼3			
専門スペイン語Ⅵ	3・4後	2	○										兼3			

外国語コミュニケーションコース	専門スペイン語Ⅶ	3・4前	2	○										兼2	
	専門スペイン語Ⅷ	3・4後	2	○										兼2	
	スペイン語コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○										兼3	
	スペイン語コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○										兼3	
	スペイン語コミュニケーションⅢ	3・4前	1	○										兼2	
	スペイン語コミュニケーションⅣ	3・4後	1	○										兼2	
	専門朝鮮語Ⅰ	2・3・4前	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅱ	2・3・4後	2	○										兼2	
	専門朝鮮語Ⅲ	2・3・4前	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅳ	2・3・4後	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅴ	3・4前	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅵ	3・4後	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅶ	3・4前	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅷ	3・4後	2	○										兼3	
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1	○										兼3	
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	2・3・4後	1	○										兼3	
	朝鮮語コミュニケーションⅢ	3・4前	1	○										兼2	
	朝鮮語コミュニケーションⅣ	3・4後	1	○										兼2	
	異文化理解セミナー	2後	2		○									兼1	
	小計 (61科目)	—	0	102	0	—		0	3	0	0	0	0	兼61	—
発展科目 (副専攻科目)	専門ドイツ語Ⅴ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼2	
	専門ドイツ語Ⅵ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼2	
	専門ドイツ語Ⅶ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼2	
	専門ドイツ語Ⅷ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼1	
	ドイツ語コミュニケーションⅢ (既修者)	2・3・4前	1	○										兼2	
	ドイツ語コミュニケーションⅣ (既修者)	2・3・4後	1	○										兼2	
	専門フランス語Ⅴ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼3	
	専門フランス語Ⅵ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼3	
	専門フランス語Ⅶ (既修者)	2・3・4前	2	○				1						兼2	
	専門フランス語Ⅷ (既修者)	2・3・4後	2	○				1						兼2	
	フランス語コミュニケーションⅢ (既修者)	2・3・4前	1	○										兼3	
	フランス語コミュニケーションⅣ (既修者)	2・3・4後	1	○										兼3	
	専門中国語Ⅴ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼5	
	専門中国語Ⅵ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼5	
	専門中国語Ⅶ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼5	
	専門中国語Ⅷ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼5	
	中国語コミュニケーションⅢ (既修者)	2・3・4前	1	○										兼3	
	中国語コミュニケーションⅣ (既修者)	2・3・4後	1	○										兼3	
	専門スペイン語Ⅴ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼3	
	専門スペイン語Ⅵ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼3	
	専門スペイン語Ⅶ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼2	
	専門スペイン語Ⅷ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼2	
	スペイン語コミュニケーションⅢ (既修者)	2・3・4前	1	○										兼2	
	スペイン語コミュニケーションⅣ (既修者)	2・3・4後	1	○										兼2	
	専門朝鮮語Ⅴ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅵ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅶ (既修者)	2・3・4前	2	○										兼3	
	専門朝鮮語Ⅷ (既修者)	2・3・4後	2	○										兼3	
	朝鮮語コミュニケーションⅢ (既修者)	2・3・4前	1	○										兼2	
朝鮮語コミュニケーションⅣ (既修者)	2・3・4後	1	○										兼2		
小計 (30科目)	—	0	50	0	—		0	1	0	0	0	0	兼29	—	
学芸員課程の授業科目	博物館概論	2・3・4前・後	2	○			1							兼1	
	生涯学習概論	2・3・4前・後	2	○										兼1	
	博物館教育論	2・3・4前・後	2	○										兼1	
	博物館情報・メディア論	2・3・4前・後	2	○										兼1	
	博物館経営論	2・3・4前	2	○										兼1	
	博物館資料論	2・3・4後	2	○			1							兼1	

学 芸 員 課 程 の 授 業 科 目	博物館資料保存論	2・3・4前・後			2	○										兼1	
	博物館展示論	2・3・4前・後			2	○				1						兼1	
	博物館・学内実習Ⅰ	2・3前・後			1				○	1						兼1	
	博物館・学内実習Ⅱ	3前・後			1				○							兼1	
	博物館・学内実習Ⅲ	3後			1				○	1						兼3	
	博物館・学内実習Ⅳ	3前・後			1				○							兼2	
	博物館・館園実習	4通			1				○	1							
	小計 (13科目)	—	0	0	21	—				2	0	0	0	0	0	兼14	—
図 書 館 司 書 課 程 の 授 業 科 目	生涯学習概論	2・3・4前・後			2	○										兼1	
	子どもの発達と読書・図書館	2・3・4前・後			2	○				1							
	図書館概論	2・3・4前			2	○					1						
	図書館制度・経営論	2・3・4後			2	○				1							
	図書館情報技術論	2・3・4後			2	○					1						
	図書館サービス概論	2・3・4後			2	○					1						
	情報サービス論	2・3・4前			2	○				1							
	情報サービス演習Ⅰ	3・4前・後			1			○		2							
	情報サービス演習Ⅱ	3・4前・後			1			○		1						兼1	
	図書館情報資源概論	2・3・4後			2	○					1						
	情報資源組織論	2・3・4前			2	○										兼1	
	情報資源組織演習Ⅰ	3・4前・後			1			○								兼1	
	情報資源組織演習Ⅱ	3・4前・後			1			○		1						兼1	
	図書館情報資源特論	2・3・4後			2	○				1							
図書・図書館史	2・3・4後			2	○				1								
図書館施設論	2・3・4後			2	○				1								
小計 (16科目)	—	0	0	28	—				2	1	0	0	0	0	兼5	—	
課 程 校 の 授 業 科 目 司 書	学校経営と学校図書館	3・4前			2	○										兼1	
	学校図書館メディアの構成	3・4前			2	○										兼1	
	学習指導と学校図書館	3・4後			2	○										兼1	
	子どもの発達と読書・図書館	2・3・4前・後			2	○				1							
	情報メディアの活用	3・4後			2	○										兼1	
小計 (5科目)	—	0	0	10	—				1	0	0	0	0	0	兼4	—	
利 用 し た 科 目 メ デ ィ ア を	特殊講義	1・2・3・4前・後		2		○										兼1	※実習、メディア
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—				0	0	0	0	0	兼1	—	
教 職 課 程 の 授 業 科 目	日本史学総説Ⅰ	2・3・4前			2	○				2	1					兼1	
	日本史学総説Ⅱ	2・3・4後			2	○				1	1						
	日本史学総説Ⅲ	2・3・4前			2	○				1	1						
	日本史学総説Ⅳ	2・3・4後			2	○				1						兼1	
	日本史学総説Ⅴ	2・3・4前			2	○				1						兼1	
	東洋史概論Ⅰ	1後			2	○										兼1	
	東洋史概論Ⅱ	2前			2	○				1							
	東洋史概論Ⅲ	1後			2	○										兼1	
	東洋史概論Ⅳ	2前			2	○				1						兼1	
	ヨーロッパ史概論Ⅱ	2前			2	○				3						兼1	
	イスラーム史概論Ⅱ	2前			2	○				1	1						
	日本史特殊講義	3・4前・後			2	○										兼4	
	日本史概論Ⅰ	1・2・3・4後			2	○				2	1						
	日本史概論Ⅱ	1・2・3・4後			2	○				3	1						
	考古学・文化遺産概論Ⅰ	1後			2	○				1							
	考古学・文化遺産概論Ⅱ	1後			2	○				1							
	東洋史学史	2後			2	○				1						兼1	
	東アジア現代史論Ⅰ	2前			2	○					1						
	東アジア現代史論Ⅱ	2後			2	○				1							
	ヨーロッパ史概論Ⅰ	1後			2	○				3							

教職課程の授業科目	イスラーム史概論 I	1後			2	○		1	1				
	史学論	1・2・3・4前・後			2	○		1					
	地理学	1・2・3・4後			2	○						兼1	
	人文地理学概論	1後			2	○		7	6				
	自然地理学概論	1後			2	○		1	2				
	地誌（日本）	1後			2	○		7	6			兼1	
	地誌（世界）	1後			2	○		7	6			兼1	
	歴史地理学	2前・後			2	○		4					
	経済地理学	2前・後			2	○		2					
	村落地理学	2前・後			2	○		2					
	都市地理学	2前・後			2	○		2	1				
	文化地理学	2前・後			2	○		2	1				
	地理情報学	2前・後			2	○		1	3			兼1	
	環境地理学	2前・後			2	○		1	3				
	政治学入門	3・4前・後			2	○							兼1
	政治学	3・4前・後			2	○				1			兼1
	社会学概論	1・2・3・4前			2	○		1					兼1
	翻訳と文化	2・3・4後			2	○		1					
	表象とメディア	2・3・4前			2	○		1					
	哲学概論 I	1後			2	○		1					
	哲学概論 II	1後			2	○		1	1				
	倫理学概論 I	1後			2	○		1					
	倫理学概論 II	1後			2	○				1			
	宗教学	1・2・3・4前			2	○							兼1
	仏教論	1・2・3・4後			2	○							兼1
	倫理思想史 I	2前			2	○					1		兼1
	倫理思想史 II	2後			2	○					1		兼1
	応用倫理 I	2前			2	○				1			
	身体論	2後			2	○		1					
	現象学	2前			2	○		1					
	正義論	2前			2	○				1			
	哲学史 I	2前			2	○							兼1
	哲学史 II	2後			2	○							兼1
	哲学史 III	2前			2	○							兼1
	哲学史 IV	2後			2	○							兼1
	哲学史 V	2前			2	○				1			
	哲学史 VI	2後			2	○							兼1
	フランス現代思想	2・3・4前・後			2	○		1	1				兼1
	ドイツ現代思想	2・3・4前・後			2	○							兼1
	キリスト教思想	1・2・3・4前・後			2	○							兼1
	(教) 社会科・地理歴史科教育概論	2・3・4前・後			2	○							兼1
	(教) 社会科・地理歴史科授業法	3・4前・後			2		○						兼1
	(教) 社会科・公民科授業法	3・4前・後			2		○						兼1
	(教) 中等社会系授業発展演習	3・4前・後			2		○						兼1
	哲学概論 III	2前			2	○		1	1				
	(教) 社会科・公民科教育概論	2・3・4前・後			2		○						兼1
	日本語学概論	1後			2	○		1					
	日本語史概論	2前			2	○							兼1
	現代日本語研究	2・3前・後			2	○		2					
日本語史研究	2・3前・後			2	○							兼1	
コミュニケーション表現法基礎 I	1・2・3・4後			2	○		1	1					
コミュニケーション表現法基礎 II	1・2・3・4後			2	○		1	1					
コミュニケーション表現法応用 I	2・3・4前			2	○		1	1					
コミュニケーション表現法応用 II	2・3・4後			2	○		1	1					
日本文学概論 I	1後			2	○		1						
日本文学概論 II	1後			2	○		1						
日本文学概論 III	2前			2	○		1						

教職課程 の授業科目	英語論文演習	3前	2	○			1						
	英語文法論	2・3・4後	2	○			1						
	(教) 教育原理	1・2・3・4前・後	2	○				1					
	(教) 教職概論	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	(教) 教育社会学	1・2・3・4前・後	2	○								兼1	
	(教) 教育制度論	3・4後	2	○								兼1	
	(教) 教育心理学	1・2・3・4前・後	2	○					1				
	(教) 児童・生徒理解の心理学	3・4後	2	○					1				
	(教) 特別支援教育概論	1・2・3・4前	2	○									兼1
	(教) 教育課程論	2・3・4前・後	2	○						1			
	(教) 道德教育の理論と方法	2・3・4前・後	2	○									兼1
	(教) 道德授業発展演習	3・4前・後	2		○								兼1
	(教) 総合的な学習の時間の理論と方法	3・4前・後	2	○									兼1
	(教) 特別活動の理論と方法	2・3・4前・後	2	○									兼1
	(教) 教育方法論	2・3・4前・後	2	○						1			
	(教) 生徒指導・進路指導の理論と方法	2・3・4前・後	2	○									兼1
	(教) 教育相談の理論と方法	2・3・4前・後	2	○									兼1
	(教) 教育相談の実際	3・4前	2	○									兼1
	(教) 教育実習事前指導	3後	1	○						3			兼3
	(教) 教育実習Ⅰ(事後指導を含む)	4通	2				○			3			兼3
	(教) 教育実習Ⅱ(事後指導を含む)	4通	4				○			3			兼3
	(教) 教職実践演習(中・高)	4後	2			○				3			兼3
	(教) 学校教育総合演習	3後	2			○				3			兼3
	(教) 介護等体験(事前指導)	2・3・4後	1	○									兼1
	(教) 介護等体験実習	3・4前・後	1				○						兼1
	(教) 学校インターンシップⅠ	3・4後	2				○						兼1
	(教) 学校インターンシップⅡ	3・4後	3				○						兼1
	(教) 学校インターンシップⅢ	3・4後	4				○						兼1
	(教) 国際理解教育論	3・4前	2	○									兼1
	(教) 学校文化論	3・4前	2	○									兼1
	(教) 人間と差別の教育論	3・4後	2	○									兼1
	(教) 学級担任論	3・4前	2	○									兼1
	教育人間学概論(人間形成)Ⅰ	1・2・3・4前	2	○				1					
	教育人間学概論(人間形成)Ⅳ	2・3・4前	2	○				1					
	教育人間学研究法Ⅲ	2前・後	2	○									兼1
	教育人間学研究法Ⅳ	2後	2	○				1					
	教育人間学研究法Ⅴ	2前	2	○						1			兼1
	教育人間学研究法Ⅵ	2後	2	○						1			兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2	○									兼2
	スポーツのサイエンス	1・2・3・4前	2	○									兼1
	スポーツと現代社会	1・2・3・4後	2	○									兼1
	スポーツ方法実習Ⅰ	1・2・3・4前・後	1										兼1
	スポーツ方法実習Ⅱ	1・2・3・4前・後	1										兼1
	英語Ⅰ	1前	1	○						1			兼16
	英語Ⅱ	1前	1	○				2					兼14
	英語Ⅲ	1前	1	○				2					兼14
	英語Ⅳ	1後	1	○						1			兼16
	英語Ⅴ	1後	1	○				2					兼14
	英語Ⅵ	1後	1	○				2					兼14
	英語Ⅶ	2前	1	○				1		3			兼11
英語Ⅷ	2後	1	○				3		3			兼8	
ドイツ語・基礎	1前	2	○									兼4	集中
ドイツ語・表現Ⅰ	1前	1	○									兼5	
ドイツ語・表現Ⅱ	1後	1	○									兼5	
ドイツ語・展開	1後	2	○									兼4	集中
ドイツ語・応用Ⅰ	2・3・4前	1	○									兼1	
ドイツ語・応用Ⅱ	2・3・4後	1	○									兼1	

教職課程 の授業科目	フランス語・基礎	1前			2	○				1			兼3	集中
	フランス語・表現Ⅰ	1前			1	○							兼5	
	フランス語・表現Ⅱ	1後			1	○							兼5	
	フランス語・展開	1後			2	○				1			兼4	集中
	フランス語・応用Ⅰ	2・3・4前			1	○			1					
	フランス語・応用Ⅱ	2・3・4後			1	○			1					
	中国語・基礎	1前			2	○			1	1			兼8	集中
	中国語・表現Ⅰ	1前			1	○							兼8	
	中国語・表現Ⅱ	1後			1	○							兼8	
	中国語・展開	1後			2	○			1	1			兼8	集中
	中国語・応用Ⅰ	2・3・4前			1	○				1			兼2	
	中国語・応用Ⅱ	2・3・4後			1	○				1			兼2	
	スペイン語・基礎	1前			2	○							兼6	集中
	スペイン語・表現Ⅰ	1前			1	○							兼5	
	スペイン語・表現Ⅱ	1後			1	○							兼5	
	スペイン語・展開	1後			2	○							兼6	集中
	スペイン語・応用Ⅰ	2・3・4前			1	○							兼1	
	スペイン語・応用Ⅱ	2・3・4後			1	○							兼1	
	朝鮮語・基礎	1前			2	○							兼5	集中
	朝鮮語・表現Ⅰ	1前			1	○							兼3	
	朝鮮語・表現Ⅱ	1後			1	○							兼3	
	朝鮮語・展開	1後			2	○							兼3	集中
	朝鮮語・応用Ⅰ	2・3・4前			1	○							兼2	
	朝鮮語・応用Ⅱ	2・3・4後			1	○							兼2	
	イタリア語・基礎	1前			2	○							兼2	集中
	イタリア語・表現Ⅰ	1前			1	○							兼2	
	イタリア語・表現Ⅱ	1後			1	○							兼1	
	イタリア語・展開	1後			2	○							兼2	集中
	イタリア語・応用Ⅰ	2・3・4前			1	○							兼1	
	イタリア語・応用Ⅱ	2・3・4後			1	○							兼1	
	ドイツ語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前			1	○							兼1	
	ドイツ語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後			1	○							兼1	
	ドイツ語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前			1	○							兼1	
	ドイツ語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後			1	○							兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前			1	○							兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後			1	○							兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4後			1	○							兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4前			1	○							兼1	
	ドイツ語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4後			1	○							兼1	
	ドイツ語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前			1	○							兼1	
	ドイツ語上級表現読解Ⅱ	2・3・4前			1	○							兼1	
	ドイツ語上級表現読解Ⅲ	2・3・4後			1	○				1				
	ドイツ語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後			1	○				1				
フランス語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前			1	○							兼1		
フランス語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後			1	○							兼1		
フランス語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前			1	○							兼1		
フランス語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後			1	○							兼1		
フランス語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前			1	○							兼1		
フランス語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後			1	○							兼1		
フランス語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4後			1	○							兼1		
フランス語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4前			1	○							兼1		
フランス語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4後			1	○							兼1		
フランス語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前			1	○							兼1		
フランス語上級表現読解Ⅱ	2・3・4前			1	○							兼1		
フランス語上級表現読解Ⅲ	2・3・4後			1	○				1					
フランス語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後			1	○				1					
中国語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前			1	○							兼1		

教職課程の授業科目	中国語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後			1	○															兼1	
	中国語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前			1	○															兼1	
	中国語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後			1	○															兼1	
	中国語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前			1	○															兼1	
	中国語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後			1	○															兼1	
	中国語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4後			1	○															兼1	
	中国語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4前			1	○															兼1	
	中国語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4後			1	○															兼1	
	中国語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前			1	○															兼1	
	中国語上級表現読解Ⅱ	2・3・4前			1	○															兼1	
	中国語上級表現読解Ⅲ	2・3・4後			1	○					1											
	中国語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後			1	○					1											
	スペイン語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前			1	○																兼3
	スペイン語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後			1	○																兼3
	スペイン語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前			1	○																兼2
	スペイン語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後			1	○																兼2
	スペイン語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前			2	○																兼3
	スペイン語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後			2	○																兼3
	スペイン語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4前			2	○																兼4
	スペイン語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4後			2	○																兼3
	スペイン語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・前			2	○																兼3
	スペイン語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前			2	○																兼3
	スペイン語上級表現読解Ⅱ	2・3・4後			2	○																兼3
	スペイン語上級表現読解Ⅲ	2・3・4前			2	○																兼2
	スペイン語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後			2	○																兼2
	朝鮮語中級コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前			1	○																兼3
	朝鮮語中級コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後			1	○																兼3
	朝鮮語上級コミュニケーションⅠ	2・3・4前			1	○																兼2
	朝鮮語上級コミュニケーションⅡ	2・3・4後			1	○																兼2
	朝鮮語中級表現読解Ⅰ	1・2・3・4前			2	○																兼3
	朝鮮語中級表現読解Ⅱ	1・2・3・4後			2	○																兼2
	朝鮮語中級表現読解Ⅲ	1・2・3・4前			2	○																兼3
	朝鮮語中級表現読解Ⅳ	1・2・3・4後			2	○																兼3
	朝鮮語中級表現読解Ⅴ	1・2・3・4前			2	○																兼2
	朝鮮語上級表現読解Ⅰ	2・3・4前			2	○																兼3
朝鮮語上級表現読解Ⅱ	2・3・4後			2	○																兼3	
朝鮮語上級表現読解Ⅲ	2・3・4前			2	○																兼3	
朝鮮語上級表現読解Ⅳ	2・3・4後			2	○																兼3	
情報処理入門	1・2・3・4前・後			2	○								1								兼4	
リテラシー入門	1前			2	○				8	4											兼4	
人文学のための情報処理Ⅰ	2・3・4前			2	○																兼4	
人文学のための情報処理Ⅱ	2・3・4後			2	○																兼3	
人文学のための情報処理・応用	3・4前・後			2	○																兼4	
小計 (291科目)	—	0	0	497	—				12	10	0	1	0	兼208	—							
合計 (1361科目)	—	44	1948	556	—				88	26	1	8	0	兼540	—							
学位又は称号	学士 (文学)			学位又は学科の分野				文学関係														
卒業要件及び履修方法								授業期間等														
下記に定める単位を含み、124単位以上を修得しなければならない。 (1) 基礎科目と教養科目あわせて24単位以上 (2) 外国語科目14単位以上 (第1外国語8単位、第2外国語6単位を含む) (3) 専門科目70単位以上 (卒業論文4単位を含む)								1学年の学期区分				2学期										
								1学期の授業期間				15週										
								1時限の授業時間				90分										
(注)																						
1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。																						

4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

資料1 立命館大学の志願者・合格者・入学者数の推移

学部名		2014年(平成26)年度	2015年(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2017年(平成29)年度	2018年(平成30)年度
法学部	志願者	6,927	7,811	8,326	7,686	8,392
	合格者	3,625	3,512	3,357	2,890	2,694
	入学者(A)	1,014	903	832	750	718
	入学定員(B)	790	790	790	790	755
	A/B	1.28	1.14	1.05	0.94	0.95
経済学部	志願者	7,827	9,148	8,807	9,803	9,437
	合格者	3,850	3,827	3,854	3,608	2,626
	入学者(A)	855	752	847	873	673
	入学定員(B)	735	735	735	795	795
	A/B	1.16	1.02	1.15	1.09	0.84
経営学部	志願者	8,666	10,655	9,660	12,003	10,395
	合格者	3,007	2,886	2,887	2,562	1,899
	入学者(A)	873	834	854	859	677
	入学定員(B)	760	760	760	825	825
	A/B	1.14	1.09	1.12	1.04	0.82
産業社会学部	志願者	10,646	9,440	11,364	12,546	11,342
	合格者	2,857	2,904	2,814	2,675	2,332
	入学者(A)	969	946	943	962	847
	入学定員(B)	900	900	900	900	810
	A/B	1.07	1.05	1.04	1.06	1.04
文学部	志願者	11,836	12,167	11,424	11,105	11,297
	合格者	4,393	4,734	4,074	3,161	2,751
	入学者(A)	1,172	1,217	1,017	970	864
	入学定員(B)	1,105	1,105	905	980	980
	A/B	1.06	1.10	1.12	0.98	0.88
理工学部	志願者	19,160	17,638	18,381	18,887	17,405
	合格者	7,037	7,232	7,849	6,641	6,201
	入学者(A)	936	945	1,029	924	832
	入学定員(B)	872	872	872	959	959
	A/B	1.07	1.08	1.18	0.96	0.86
国際関係学部	志願者	2,867	2,715	3,381	3,124	3,173
	合格者	945	981	990	1,030	660
	入学者(A)	295	335	318	359	318
	入学定員(B)	305	305	305	335	360
	A/B	0.96	1.09	1.04	1.07	0.88
政策科学部	志願者	3,600	3,691	4,786	3,863	5,318
	合格者	1,296	1,296	1,309	1,165	1,091
	入学者(A)	377	407	392	420	387
	入学定員(B)	360	360	360	410	410
	A/B	1.04	1.13	1.08	1.02	0.94
情報理工学部	志願者	5,308	5,201	5,049	4,981	5,714
	合格者	1,951	2,009	2,031	1,944	1,630
	入学者(A)	458	455	477	513	410
	入学定員(B)	440	440	440	475	475
	A/B	1.04	1.03	1.08	1.08	0.86
映像学部	志願者	1,459	1,611	1,814	1,697	2,091
	合格者	419	397	351	372	392
	入学者(A)	164	176	151	160	168
	入学定員(B)	150	150	150	160	160
	A/B	1.09	1.17	1.00	1.00	1.05
薬学部	志願者	2,191	2,151	2,268	2,316	2,389
	合格者	653	880	971	1,010	678
	入学者(A)	99	149	163	197	141
	入学定員(B)	100	160	160	160	160
	A/B	0.99	0.93	1.01	1.23	0.88
生命科学部	志願者	7,243	6,701	6,035	6,415	6,354
	合格者	2,497	2,485	2,776	2,702	2,729
	入学者(A)	311	272	296	340	306
	入学定員(B)	280	280	280	325	325
	A/B	1.11	0.97	1.05	1.04	0.94
スポーツ健康科学部	志願者	2,568	2,561	2,541	2,495	2,517
	合格者	710	637	629	617	631
	入学者(A)	236	237	246	241	231
	入学定員(B)	220	220	220	235	235
	A/B	1.07	1.07	1.11	1.02	0.98
総合心理学部	志願者			5,048	3,606	3,780
	合格者			1,035	817	774
	入学者(A)			318	300	302
	入学定員(B)			280	280	280
	A/B			1.13	1.07	1.07
食マネジメント学部	志願者					3,461
	合格者					920
	入学者(A)					355
	入学定員(B)					320
	A/B					1.10
大学合計	志願者	90,298	91,490	98,884	100,527	103,065
	合格者	33,240	33,780	34,927	31,194	28,008
	入学者(A)	7,759	7,628	7,883	7,868	7,229
	入学定員(B)	7,017	7,077	7,157	7,629	7,849
	A/B	1.10	1.07	1.10	1.03	0.92